エコアクション21
認証番号 0004815

エコアクション21
環境活動レポート

活動期間：2015.04～2016.03

あなぶきエンタープライズ
anabuki

目次

1. 環境経営方針 1

2. 事業内容 2

各施設紹介 3~6

3. エコアクション21 推進体制組織図 7

4. 全社中長期目標 8

5. 今年度の環境目標と活動計画・実績 9

全社実績集計 10

指定管理者事業部 11

SA&リゾート事業部 12

ホテル事業部 13

倉敷事業部 14

関連事業部・管理本部 15

6. 今後のエコ活動計画 16

7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無 17

8. 各施設環境活動報告《 目次 》 18

施設別環境レポート 1~19

9. 代表者による全体評価と見直しについて 19

1．環境経営方針

【 環 境 経 営 方 針 】

穴吹エンタープライズ株式会社は、地域社会に生かされ生きる企業を目指し、全ての事業活動において環境負荷の削減に努め、持続可能な低炭素社会及び循環型社会の実現に向けて、社会的責任を果たします。

1. お客様に満足していただける、安全で快適な環境を提供します。

お客様にご利用いただく施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供を推進します。

2. 廃棄物の適正処理と削減に取組みます。

(1) 3R を推進し、廃棄物の削減をします。

※3R (Reduce：発生抑制・Reuse：再使用・Recycle：再資源化)

(2) 食品リサイクル率の向上・生ごみ廃棄物の発生抑制を推進します。

3. 環境コミュニケーションに取組みます。

環境活動レポートを社内外に公表し、社会からの信頼向上に努めます。

4. 法令を遵守します。

環境に関する法規制等を遵守し、環境保全に努めます。

5. 環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

全スタッフへ環境に関しての教育を行い、継続的改善に努めます。

制定日　2011年3月1日
改定日　2016年6月1日
穴吹エンタープライズ株式会社
代表取締役社長
冨岡 徹也

2. 事業内容

□ 事業所名及び代表者名
穴吹エンタープライズ株式会社
代表取締役 社長　冨 岡 徹 也

□ 所在地
本社：香川県高松市鶴屋町 2-8 あなぶきセントラルビル 4 階

□ 環境管理責任者及び環境管理事務局連絡先
・環境管理責任者：須崎　隆二　（執行役員　管理本部長）
　電話：087-825-0556
・事務局連絡先：稲谷　敏　（施設･購買部　部長）
　電話：087-831-1529

□ 事業の規模（全社）
総従業員数　　599 人（2015 年 3 月末現在）
全社売上高　　5,817 百万円（2014 年 7 月～2015 年 6 月）

□ エコアクション 21 の運用範囲について
当社、穴吹エンタープライズ株式会社は、以下の 6 つの事業部から構成されております。

№	事業部名	施設名	業務内容
1	指定管理者事業部	・サンメッセ香川 ・香川県県民ホール・高松テルサ ・三豊市文化会館（マリンウェーブ） ・香川県総合運動公園	指定管理者制度に基づき、地方自治体等により委託された公共施設の管理･運営、イベント運営の総合プロデュースを行う。
2	SA&リゾート事業部	・アルファ津田カントリークラブ ・クアパーク津田 ・クアタラソさぬき津田 ・津田の松原サービスエリア ・上板サービスエリア	スポーツ･健康増進施設、サービスエリア、ゴルフ場を運営する。
3	ホテル事業部	・チサンイン高松　・高松国際ホテル ・ロイヤルパークホテル高松 ・リーガホテルゼスト高松 ・琴平パークホテル	宿泊施設、料飲施設を運営する。
4	倉敷事業部	・旅館くらしき ・倉敷珈琲館	宿泊施設、料飲施設を運営する。
5	管理本部	・管理部 ・施設購買部	人事や会社の資産等を管理し、各課の運営をサポートする。
6	関連事業部	・あなぶき家　・フーズケア課 ・ストアマネジメント課	うどんレストラン、物販店舗運営及び通販展開、高齢者用施設への給食提供を行う。

■□■各　施　設　紹　介■□■

～指定管理者事業部～

◆ サンメッセ香川

サンメッセ香川　外観

所 在 地：香川県高松市林町 2217-1
施設規模：延床面積　37,426 ㎡
開　　業：平成 6 年（1994 年）
（平成 17 年 4 月～平成 32 年 3 月：香川県の指定管理期間）
　香川インテリジェントパーク内にある県内最大の総合コンベンション施設です。大小 2つの展示場と、様々な会議室をご用意しております。
大規模なイベント、見本市・展示会から少人数の会議・勉強会まで幅広くご利用いただいております。

◆ 香川県県民ホール

香川県県民ホール　外観

所 在 地：香川県高松市玉藻町 9-10
施設規模：延床面積　27,820 ㎡
開　　業：昭和 63 年（1988 年）
（平成 18 年 4 月～平成 33 年 3 月：香川県の指定管理期間）
　音楽、舞踊、演劇、講演会などあらゆる舞台芸術やイベントに対応できる大小２つのホールと各種練習室、会議室を備えた香川県の舞台芸術の拠点施設です。
国内外の優れた舞台芸術の公演をはじめ県民の創作活動の発表、練習や全国規模の学会・大会、各種会議などに幅広くご利用いただいております。

◆ 高松テルサ

高松テルサ　外観

所 在 地：香川県高松市屋島西町 2366-1
施設規模：延床面積　11,467 ㎡
開　　業：平成 5 年（1993 年）
（平成 21 年 4 月～平成 31 年 3 月：高松市の指定管理期間）
　会議室、研修室、ホール等を有する多目的施設です。貸し館に加え、宿泊施設やトレーニングジムも併設しております。健康増進・文化教養のための自主企画事業を数多く実施。地域と一体化したテルサ音楽祭、勤労者美術展といったイベントなどにも幅広くご利用いただいております。

◆ 三豊市文化会館（マリンウェーブ）

三豊市文化会館マリンウェーブ　外観

所 在 地：香川県三豊市詫間町詫間 1338-127
施設規模：延床面積　6,136 ㎡
開　　業：平成 12 年（2000 年）
（平成 25 年 12 月～平成 30 年 3 月：三豊市の指定管理期間）
「特定非営利活動法人三豊市総合型地域文化・スポーツクラブ」の構成員として運営しております。
　三豊市文化会館マリンウェーブは、三豊市の文化発信拠点として市民に愛されております。数々の感動的な公演の舞台となってきた「マーガレットホール」をはじめ、多目的にご利用いただける各種スペースをご用意しております。

◆ 香川県総合運動公園

香川県総合運動公園　外観

所 在 地：香川県高松市生島町 614 番地
施設規模：野球場 2 面・サッカーラグビー場 2 面・テニス場 20 面・相撲場 3 土俵、多目的広場
開　　業：昭和 57 年（1982 年）より野球場がスタート
（平成 24 年 4 月～平成 30 年 3 月：香川県の指定管理期間）
弊社と香川県造園事業協同組合、ミズノによる指定管理共同体により運営されています。
　香川県総合運動公園は、高松市生島町の瀬戸内海の波穏やかな生島湾と瀬戸内海国立公園の緑豊かな五色台丘陵に囲まれた海の見える運動公園です。
高松市の西部、生島湾に面した塩田跡地に 1979 年から香川県により公園整備が開始されました。

～SA＆リゾート事業部～

◆ 津田の松原サービスエリア

所 在 地：（上り線）香川県さぬき市津田町鶴羽 935-5
（下り線）香川県さぬき市津田町鶴羽 939-1
施設規模：延床面積　2,248 ㎡
開　　業：平成 13 年（2001 年）
（平成 13 年 4 月より㈱さぬき市 SA 公社から委託され弊社が業務開始）
日本の渚百選瀬戸内海「津田の松原」を眼下に望む『津田の 松原 SA』内で飲食物の提供と土産物の販売をしています。
レストランでのお食事のほか、本場讃岐うどん「あなぶき家」、お土産・売店では地域特産品を多数ご用意し、香川県外・県内のお客様のおもてなしをさせていただいております。

津田の松原ＳＡ　外観

◆ クアパーク津田（国民宿舎松琴閣）

所 在 地：香川県さぬき市津田町松原地内
施設規模：延床面積　2,422 ㎡（地下 1 階・地上 3 階、客室数：26 室）
開　　業：昭和 37 年（1962 年）
（平成 8 年 11 月より㈱さぬき市 SA 公社から委託され弊社が業務開始）
「津田の松原」の東端に位置し、瀬戸内海を望む砂浜に面した宿泊施設、会議室研修室、ホール、入浴施設、レストラン等を有する多目的施設です。
地域と一体となった運営をし、広くご利用いただいております。

クアパーク津田　外観

◆ クアタラソさぬき津田

所 在 地：香川県さぬき市鶴羽 24-2
施設規模：延床面積　1,885 ㎡
開　　業：平成 5 年（1993 年）
（平成 8 年 11 月より㈱さぬき市 SA 公社から委託され弊社が業務開始）
温水プール、入浴施設、トレーニングジムを主体として健康増進を目的とした地域密着型施設です。
隣接のクアパーク津田と、連絡通路で結ばれており、一体的な利用が可能です。

クアタラソさぬき津田　外観

◆ アルファ津田カントリークラブ

所 在 地：香川県さぬき市寒川町神前 647-16
施設規模：18 ホール・6,262 ヤード・パー72
創　　業：昭和 60 年（1985 年）
開　　業：平成 17 年（2005 年）
瀬戸内 View が眼前に広がる、「津田コース№1 ホール」からスタート。
スポーツとしての純粋なゴルフを楽しめるコースをご用意しております。

アルファ津田カントリークラブ　外観

◆ 上板サービスエリア

所 在 地：（上り線）徳島県板野郡上板町神宅字菖蒲谷 72-3
（下り線）徳島県板野郡上板町大字神宅字山田 99-16
施設規模：延床面積　1,660 ㎡
開　　業：平成 26 年（2014 年）
（平成 26 年 2 月より西日本高 速道路 サービス・ホールディングス㈱から委託され弊社が業務開始）
ショッピングコーナーでは、さまざまなお土産をラインナップしています。
スナックコーナーでは、ラーメンやうどん等の麺類をはじめ、各種どんぶりや定食メニューと、種類豊富な品々からお選びいただけます。

上板サービスエリア　外観

～ホテル事業部～

◆ 高松国際ホテル

所 在 地：香川県高松市木太町 2191-1
施設規模：地上 5 階建　延床面積：3,340 坪　客室数：101 室
創　　業：昭和 39 年（1964 年）10 月
開　　業：平成 13 年（2001 年）5 月
　東京オリンピックが開かれた 1964 年（昭和 39 年）に創業した「高松国際ホテル」。
以来、皇室をはじめとする多くの賓客をおもてなししてきた伝統と実績。
優しく、あたたかなサービスでお客様をお出迎え致します。

高松国際ホテル　外観

◆ チサン イン高松

所 在 地：香川県高松市福田町 11-1
施設規模：地上 9 階建　延床面積：889 坪　客室数：117 室
創　　業：昭和 63 年（1988 年）9 月
（平成 22 年 3 月「ロイヤルパークホテル高松アネックス」から「チサン イン高松」としてリニューアルオープン。）
　ロープライスと快適性をハイレベルに融合したホテル。
高松の繁華街に位置し、充実のアメニティとファシリティ、全室に無料のインターネット回線を完備し、お客様の大切なくつろぎのひと時をご提供いたします。

チサン イン高松　外観

◆ ロイヤルパークホテル高松

所 在 地：香川県高松市瓦町 1-3-11
施設規模：地下 1 階地上 9 階建　延床面積：1,396 坪　客室数：50 室
創　　業：平成元年（1989 年）2 月
　繁華街の中心・瓦町に位置するアールデコ調の気品漂う「ロイヤルパークホテル高松」。
安らぎの睡眠を提供する客室、落ち着いた和の空間で日本料理を提供する座敷割烹『錦』。
さまざまなニーズにお応えする宴会場や会議室もご利用いただけます。

ロイヤルパークホテル高松　外観

◆ 琴平パークホテル

所 在 地：香川県仲多度郡琴平町榎井 706-7
施設規模：地上 8 階建　延床面積：1,629 坪　客室数：88 室
創　　業：平成 17 年（2005 年）7 月
　こんぴらさんの門前町の中で、数少ないビジネスタイプの「琴平パークホテル」。
金比羅宮の参拝など観光目的のお客様、出張でお越しになるビジネスマンにとって、お財布にやさしいホテルです。
一日の疲れを癒す展望浴場など、様々な寛ぎのおもてなしもご用意しております。

琴平パークホテル　外観

◆ リーガホテルゼスト高松

所 在 地：香川県高松市古新町 9-1
施設規模：地下 1 階地上 10 階建　延床面積：3,003 坪　客室数：122 室
創　　業：昭和 55 年（1980 年）7 月
開　　業：平成 24 年（2012 年）8 月
　四国のゲートウェイである高松市の中心市街地に位置し、30 年以上地元の皆様に愛され続ける老舗ホテル。ビジネスや観光、ショッピングなど様々な用途にアクセスに至便なホテルです。レストランでは地元農家や漁師から直接仕入れる新鮮な素材を中心に、高松らしい美食をご用意。老舗ならではの伝統と実績、経験に培われたホスピタリティで、お客様をおもてなし致します。

リーガホテルゼスト高松　外観

～倉敷事業部～

◆ 旅館　くらしき

旅館くらしき　外観

所 在 地：岡山県倉敷市本町 4-1
施設規模：木造 2 階建
創　　業：昭和 32 年（1957 年）
開　　業：平成 18 年（2006 年）7 月
　倉敷美観地区の中心部に位置し、陽前の庭、伝統建築の静かな佇まいに癒される料理旅館。先代が手塩にかけ、倉敷随一の伝統と格式を持って育て上げた名宿です。古くは、江戸末期に遡る道具蔵などを改装したゲストルーム、宴会用お座敷、レストランを併設し、国内外のお客様をお迎えしています。

◆ 倉敷珈琲館

倉敷珈琲館　外観

所 在 地：岡山県倉敷市本町 4-1
施設規模：木造 2 階建　30 席
創　　業：昭和 46 年（1971 年）4 月
開　　業：平成 18 年（2006 年）7 月
　白壁の町、倉敷美観地区の一角にある焙煎珈琲（コーヒー）専門店です。
1971 年の開店より、厳選して仕入れた豆をひとつひとつさらに選り分け、培った焙煎技術とネルドリップをかたくなに守り、ひらすら美味しいコーヒーを求め続けてまいりました。

～関連事業部～

◆ あなぶき家　庭瀬店

あなぶき家 庭瀬店　外観

所 在 地：岡山県岡山市北区庭瀬 522-1
施設規模：座席数 59 席
創　　業：平成 24 年（2012 年）5 月
　津田の松原サービスエリア内で運営するセルフうどん店「あなぶき家」の郊外型店舗一号店として、岡山市庭瀬に出店いたしました。
うどんはもちろん、トッピング・惣菜類の素材にもこだわり、基本的には岡山・香川の地産品を活かしたメニューや季節商品を展開し、本場讃岐の味を提供させていただいております。

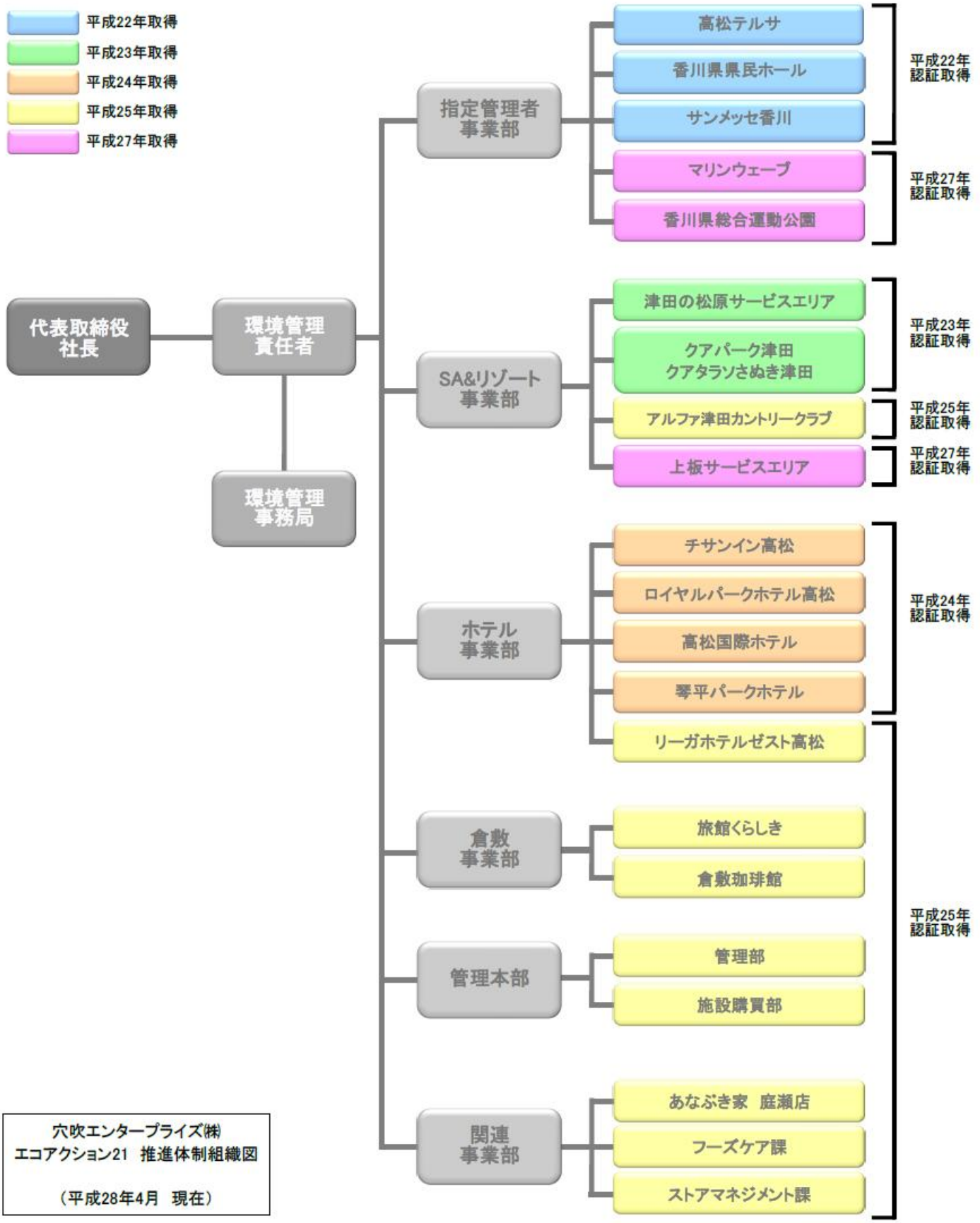
◆ フーズケア課

　サービス付き高齢者用住宅、住宅型有料老人ホームへの食事供給業務を受託し、安全安心な食生活の提供をさせていただいております。

◆ ストアマネジメント課

　津田の松原サービスエリア内で「あなぶき家」のうどん商品、「あなぶきホテルズ」「倉敷珈琲館」オリジナル製品の販売を行っております。

3. エコアクション 21 推進体制組織図



穴吹エンタープライズ㈱
エコアクション21 推進体制組織図

（平成28年4月 現在）

4. 全社中長期目標

■ 全社中長期目標 ■

平成 26 年度を基準年度とした 3 ヵ年計画を下表の通り設定致しました。

環境目標項目		基準年度	目標値		
		2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
		実績	基準年度比 1.0 %減	基準年度比 2.0 %減	基準年度比 3.0 %減
1.省エネルギー化推進による CO_2 排出量削減	**CO_2 排出量**	3.240 (kg−CO_2)/人	3.208 (kg−CO_2)/人	3.175 (kg−CO_2)/人	3.143 (kg−CO_2)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（一般事業系）	**廃棄物排出量**	41.94(g/人)	41.52(g/人)	41.10(g/人)	40.68(g/人)
	発生量	66.60(g/人)	−	−	−
	リサイクル量	24.66(g/人)	−	−	−
	リサイクル率	37.03(%)	38.03(%)	39.03(%)	40.03(%)
3.食品リサイクル率の向上	発生量	38.61(g/人)	−	−	−
	リサイクル量	26.87(g/人)	−	−	−
	リサイクル率	69.60(%)	70.60(%)	71.60(%)	72.60(%)
4.節水による排水量削減	**排水量**	49.066(L/人)	48.575(L/人)	48.085(L/人)	47.594(L/人)
5.グリーン購入の実施	LED 電球の使用	白熱灯電球更新時の LED 化の推進			
	文房具	全購入品目において、エコマーク製品購入の推進			
	設備機器・厨房機器等	更新時の高効率機器の採用 100%			
6.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	**合格者数(延)**	2014 年度末	2015 年度末	2016 年度末	2017 年度末
		160 名	190 名	210 名	230 名
7.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発	● 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施。 ● お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施。				

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.699kg−CO_2/kWh（四国電力 2013 年実績）

■ 全社中長期目標を達成に向けての活動内容 ■

各施設において具体的活動計画を策定し、『環境目標の達成に向けて全力を挙げて取組みます』

環境目標	活動計画(実施項目)
1.省エネルギー化推進による CO_2 排出量削減	①省エネルギー対策の推進 ②高効率機器等への更新の促進
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	①3R(発生抑制、再使用、再資源化)を推進
3.食品リサイクル率の向上	①食品廃棄物の発生抑制、減量化の推進 ②食品廃棄物の分別を徹底し、再生利用の推進
4.節水による排水量削減	①適正水量調整による使用水量の削減 ②水使用場所での節水の呼掛け徹底
5.グリーン購入の実施	①エコマーク製品の購入量の拡大
6.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	①全スタッフのエコ意識を高めるため、計画的に受検を奨励し、意識向上を図ります。
7.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発	①全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施 ②お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施

5. 今年度の環境目標及び活動計画・実績

※エコアクションを文中では、EA21 と表記します

【今年度の各施設の活動概要について】

昨年度新たに 3 施設が加わり、今年度は全社体制での取組を始めて 2 年目となります。
今年度は、昨年度の実績値を基に各施設とも目標値を再設定しました。それに伴い、これまでの削減活動・取組方法への見直しも実施することが出来たと考えます。
弊社の食品リサイクルに対する取組を評価され、県議会議員の方が高松国際ホテルまで実際の取組の様子を視察しに来訪されました。
また、廃棄物排出事業者の責任として、処理委託している事業者の処理場施設に見学に行く機会を設け、リサイクルの現場を直接確かめる事が出来た事も大変に意義があったと考えます。
長年取組んでいる、「グリーンカーテン」は今年も成功し、実施する施設も徐々に増えております。高松テルサでの「クールシェア活動」に関しては、夏休み期間中の開催ということもあり、お子様連れのお客様からも大変好評となっております。お客様の環境関心への向上に貢献出来ているのはないかと思います。
今後も、地道に活動を継続し《地域社会に生かされ生きる》模範となる企業を目指して努力致します。

【今年度の活動実績と評価】

今年度の全社評価としては、CO_2 排出量・一般事業系廃棄物排出量・総排水量の各項目において、目標値を達成する事が出来ました。
唯一、未達成となってしまった《食品リサイクル率》については、昨年度比 2.12%減という結果になりました。食品リサイクル率悪化の要因としては、人員の入替とそれに伴う教育・周知の不足が挙げられます。人員が入替る度に分別基準が変動し、既定の分別が厳守されていない現状が窺えます。
これは、すべの削減取組においても言える事であり、人員入替に影響されないよう引継ぎ易く、解り易い取組内容のマニュアル化や教育・訓練・周知の徹底を再度意識する必要があると考えております。
全社を挙げて取組んでいる『環境社会検定(eco 検定)』も、今期 35 名合格(累計 195 名)という結果になり、今年度目標は達成致しました。eco 検定合格者で「エコユニット」を結成する活動も始動し、来期には、エコユニットでの活動も報告出来るように励みたいと思います。
また、総排水量においては、老朽化に伴う水漏れも有り増となったが対応し、又、地道に節水に努めた事が原単位目標達成に貢献したのではないかと考えております。
未達成だった項目は勿論のこと、達成出来た項目についても、引続き削減に努めて行きたいと考えております。

【各施設共通目標の活動実績と評価】

★グリーン購入の実施
グリーン購入については、各施設にて、白熱電球の LED 化推進、厨房機器等の高効率機器への更新、事務用品等のエコマーク製品の購入を推進して来ました。今後も継続して行きます。

★スタッフの環境知識・意識の向上を目的とした eco 検定合格(受検)
弊社では、《全施設での EA21 の導入》を経営計画や方針管理の中で目標として掲げ、継続的なエコ活動に取組んで参りました。また、事業拡大に伴い新たに運営を開始した事業所においても、本年度より導入・取組を始動致しました。順調にエコピープルも増やしております。今後は《全スタッフの合格》を目指して取組みを進める事は勿論、エコピープルを核としたエコユニットを結成し、環境活動推進の更なるボトムアップを図りたいと思います。

★環境配慮意識をスタッフやお客様にご理解いただくための啓発活動
弊社では、お客様に満足して頂ける安全で快適な環境を提供できるよう、施設環境の向上と環境負荷に配慮した商品とサービスの提供に努めています。各施設において弊社の環境取組について掲示等による啓発活動を実施し、お客様や関連業者様のご理解・ご協力を得られるよう努め、エコ活動の輪を一層広げて行きたいと思います。

■ 全社実績集計 ■

☆ 活動実績と評価 ☆

穴吹エンタープライズ㈱：全社集計

環境目標 項　目	実績評価（原単位:利用者人数1人当り） ①目標値	②実績値	③評価（②-①）	昨年度との実績比較 環境目標 項　目		単位	2014年度実績（A）	2015年度実績（B）	対前年度増減（B)-(A)
				利用者人数		人	4,103,612	4,782,522	678,910
①省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減	3.208	2.708	clear! ▲ 0.500	CO_2排出量		kg-CO_2	13,295,798	12,949,949	▲ 345,849
				使用実績内訳	電気	kWh	15,156,697	14,855,993	▲ 300,704
					灯油	ℓ	17,320	19,407	2,087
					A重油	ℓ	45,974	45,670	▲ 304
					都市ガス	m3	697,349	646,733	▲ 50,616
					プロパンガス	kg	277,748	269,541	▲ 8,207
					ガソリン	ℓ	30,545	32,061	1,516
					軽油	ℓ	10,721	9,680	▲ 1,041
	(kg-CO_2)/利用者数								
②分別･リサイクル推進による廃棄物(排出量削減(一般事業系)	41.5	39.0	▲ 2.47	廃棄物排出量 (a)-(b)		t	172.102	186.676	14.574
				廃棄物量内訳	廃棄物発生量 (a)	t	273.295	290.128	16.833
					リサイクル量 (b)	t	101.193	103.452	2.259
					リサイクル率 (b)÷(a)	%	37.03%	35.66%	▲ 1.37%
	(g)/利用者数								
③食品リサイクル率の向上	70.60%	67.57%	(達成率) 95.71%	食品廃棄物発生量 (c)		t	158.239	162.416	4.177
				食品リサイクル量 (d)		t	110.272	109.748	▲ 0.524
				リサイクル率 (d)÷(c)		t	69.69%	67.57%	▲ 2.11%
④節水による総排水量削減	48.575	40.451	clear! ▲ 8.124	総排水量		m^3	201,347	193,457	▲ 7,890.0
	(ℓ)/利用者人数								
⑤グリーン購入の実施	①LED電球への更新(共用部を優先的実施) ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施								

⑥eco検定合格(受検)による環境意識の向上	前期まで合格者数	2014年度受検者数	7月合格者数	12月合格者	2014年度合格率	累計合格者数
	160名	136名	22名	13名	26%	195名

⑦スタッフ･お客様への啓発活動	･全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 ･お客様への掲示物などによる活動への理解促進･ご協力要請の推進。

※CO_2排出係数について、全施設での係数を0.699kg-CO_2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

1ページ

■ 指定管理者事業部 ■

☆ 活動実績と評価 ☆

事　業　部　名　：指　定　管　理　事　業　部

環境目標項目	実績評価（原単位:利用者人数1人当り） ①目標値	②実績値	③評価（②-①）	昨年度との実績比較 環境目標項目		単位	2014年度実績（A）	2015年度実績（B）	対前年度増減（B)-(A)
				利用者人数		人	1,678,294	1,730,524	52,230
①省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減	2.901	2.708	clear! ▲ 0.194	CO_2排出量		kg-CO_2	4,869,272	4,685,675	▲ 183,597
				使用実績内訳	電気	kWh	6,090,437	5,892,526	▲ 197,911
					灯油	ℓ	16,300	18,200	1,900
					A重油	ℓ	384	370	▲ 14
					都市ガス	m3	241,413	220,620	▲ 20,793
					プロパンガス	kg	1,404	1,463	59
					ガソリン	ℓ	3,728	2,476	▲ 1,252
					軽油	ℓ	1,291	1,483	192
	（kg-CO_2）/利用者数								
②分別･リサイクル推進による廃棄物(排出量削減(一般事業系)	30.8	32.6	1.83	廃棄物排出量 (a)-(b)		t	51.711	56.480	4.769
				廃棄物量内訳	廃棄物発生量 (a)	t	70.567	75.700	5.133
					リサイクル量 (b)	t	18.856	19.220	0.364
					リサイクル率 (b)÷(a)	%	26.72%	25.39%	▲ 1.33%
	（g）/利用者数								
③食品リサイクル率の向上	100%	100%	（達成率） 100% clear!	食品廃棄物発生量 (c)		t	4.188	3.905	▲ 0.283
				食品リサイクル量 (d)		t	4.188	3.905	▲ 0.283
				リサイクル率 (d)÷(c)		t	100.00%	100.00%	0.00%
④節水による総排水量削減	20.4517	20.509	clear! 0.058	総排水量		m^3	34,324	35,492	1,168.0
	（ℓ）/利用者人数								

⑤グリーン購入の実施	①LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施

⑥eco検定合格（受検）による環境意識の向上	前期まで合格者数	2015年度受検者数	7月合格者数	12月合格者	2015年度合格率	累計合格者数
	62名	13名	5名	0名	38%	67名

⑦スタッフ･お客様への啓発活動	･全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 ･お客様への掲示物などによる活動への理解促進･ご協力要請の推進。

※CO_2排出係数について、全施設での係数を0．699kg－CO_2/kWhとします。（四国電力2013年実績）

1ページ

【今年度の活動実績と評価】

今期の環境目標項目は、ＣＯ２排出削減、排水量削減に関しては原単位目標達成となりました。

個々の取り組みとしましては、指定管理者として制約のある公の施設を預かる中で、老朽化した設備を更新する事により、稼働効率の上昇やエネルギーロスを防止し電力削減に大きく貢献できました。

また、各館のグリーンカーテンや枝葉の堆肥化、エコパネル展といった取組も継続的に行われており、昨年に引き続き、食品リサイクル率１００％をしっかりと維持出来ています。

指定管理事業部としては、生ゴミやビニール製品等のリサイクル施設を視察し、適切に処理されているか確認する事で、担当者の意識向上に努めました。

指定管理者事業部として、27 年度の取組は、概ね良好な結果となりました。

■ SA&リゾート事業部 ■

☆ 活動実績と評価 ☆

事　業　部　名　：SA & リゾート事業部

環境目標 項　目	実績評価（原単位:利用者人数1人当り） ①目標値	②実績値	③評価（②-①）	昨年度との実績比較 環境目標 項　目		単位	2014年度実績（A）	2015年度実績（B）	対前年度増減（B)-(A)
				利用者人数		人	1,806,709	2,449,508	642,799
①省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減	1.837	1.345	▲ 0.492	CO_2排出量		kg-CO_2	3,319,030	3,295,244	▲ 23,786
				使用実績内訳	電気	kWh	3,323,519	3,317,588	▲ 5,931
					灯油	ℓ	1,020	651	▲ 369
					A重油	ℓ	45,590	45,300	▲ 290
					都市ガス	m3			
					プロパンガス	kg	266,254	259,379	▲ 6,875
					ガソリン	ℓ	23,608	25,841	2,233
					軽油	ℓ	5,991	5,046	▲ 945
	（kg-CO_2）/利用者数								
②分別･リサイクル推進による廃棄物(排出量削減(一般事業系)	24.2	19.6	▲ 4.57	廃棄物排出量 (a)-(b)		t	43.652	47.982	4.330
				廃棄物量内訳	廃棄物発生量 (a)	t	88.157	97.231	9.074
					リサイクル量 (b)	t	44.505	49.249	4.744
	（g）/利用者数				リサイクル率 (b)÷(a)	%	50.48%	50.65%	0.17%
③食品リサイクル率の向上	92.45%	89.97%	（達成率） 97.31%	食品廃棄物発生量 (c)		t	56.381	57.138	0.757
				食品リサイクル量 (d)		t	52.127	51.406	▲ 0.721
				リサイクル率 (d)÷(c)		t	92.45%	89.97%	▲ 2.49%
④節水による総排水量削減	32.045	20.794	clear! ▲ 11.251	総排水量		m^3	57,896	50,936	▲ 6,960.0
	（ℓ）/利用者人数								
⑤グリーン購入の実施	①LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施								

⑥eco検定合格（受検）による環境意識の向上	前期まで合格者数	2015年度受検者数	7月合格者数	12月合格者	2015年度合格率	累計合格者数
	18名	14名	1名	5名	43%	24名

⑦スタッフ･お客様への啓発活動	･全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 ･お客様への掲示物などによる活動への理解促進･ご協力要請の推進。

※CO_2排出係数について、全施設での係数を0.699kg－CO_2/kWhとします。（四国電力2013年実績）

1ページ

【今年度の活動実績と評価】

《今年度の環境変化》

●津田の松原サービスエリア

1.5～6月改装工事による来店者数の減少

2.7月～24時間営業のコンビニエンスストア運営開始による来店数の増加（約190,000人）

●上板サービスエリア

1.2014年度改装工事による来店者数減少からの回復

2.2015.3.14鳴門・徳島JCT開通による来店者数の増加

●豆吉こんぴら店

1.今年度より実績値カウント（来店者数約20,000人）

上記の環境変化が大きく影響したが、CO2排出量・総排水量に関しては各施設の削減活動の成果もあり、営業範囲は拡大したものの、総量で前年実績を下回る結果となった。（CO2排出総量：対前年99.3%・総排水量88.0%）実績評価としては原単位である利用者数が大幅に（前年比135.6%）増加し、①CO2排出量②廃棄物排出量④総排水量の項目の実績評価はクリア。但し次年度は目標設定を見直しが必要。

アルファ津田カントリークラブの浴槽の漏水に関しては再度調査の上対処し、総排水量の削減を図る。

全施設を通じて、本年同様次年度以降もエコ検定合格者を増加させ、更なるエコ・環境意識の向上を目指す。また、他事業部の取り組みの水平展開は勿論のこと、社外の取り組みについても情報を入手し更なる改善活動を推進する。

■ ホテル事業部 ■

☆ 活動実績と評価 ☆

事　業　部　名　：ホ　テ　ル　事　業　部

環境目標 項　目	実績評価（原単位:利用者人数1人当り） ①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標 項　目		単位	2014年度実績（A）	2015年度実績（B）	対前年度増減（B)-(A）
				利用者人数		人	475,054	481,182	6,128
①省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減	9.923	9.497	clear! ▲ 0.426	CO_2排出量		kg-CO_2	4,714,114	4,569,995	▲ 144,119
				使用実績内訳	電気	kWh	5,344,034	5,222,332	▲ 121,702
					灯油	ℓ			
					A重油	ℓ			
					都市ガス	m3	418,643	392,451	▲ 26,192
					プロパンガス	kg	609	828	219
					ガソリン	ℓ	2,941	3,445	504
					軽油	ℓ	3,439	3,151	▲ 288
	（kg-CO_2）/利用者数								
②分別･リサイクル推進による廃棄物(排出量削減(一般事業系)	141.3	149.7	8.38	廃棄物排出量 (a)-(b)		t	67.119	72.019	4.900
				廃棄物量内訳	廃棄物発生量 (a)	t	102.034	104.252	2.218
					リサイクル量 (b)	t	34.915	32.233	▲ 2.682
	（g）/利用者数				リサイクル率 (b)÷(a)	%	34.22%	30.92%	▲ 3.30%
③食品リサイクル率の向上	71.31%	71.26%	（達成率） 99.93%	食品廃棄物発生量 (c)		t	73.707	74.064	0.357
				食品リサイクル量 (d)		t	52.562	52.777	0.215
				リサイクル率 (d)÷(c)		t	71.31%	71.26%	▲ 0.05%
④節水による総排水量削減	190.117	188.891	clear! ▲ 1.226	総排水量		m^3	90,316	90,891	575.0
	（ℓ）/利用者人数								

⑤グリーン購入の実施	①LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施

⑥eco検定合格（受検）による環境意識の向上	前期まで合格者数	2015年度受検者数	7月合格者数	12月合格者	2015年度合格率	累計合格者数
	47名	86名	14名	7名	24%	68名

⑦スタッフ･お客様への啓発活動	･全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 ･お客様への掲示物などによる活動への理解促進･ご協力要請の推進。

※CO_2排出係数について、全施設での係数を0．699kg－CO_2/kWhとします。（四国電力2013年実績）

1ページ

【今年度の活動実績と評価】

1．全体　　エコアクション、ホテル業界で取り組んでいるところは少ないと思う。良い取り組みなので継続して活動していきたい。

2．実績評価　　利用人数が増加している中で、CO2 が削減できたことは非常に評価できる。逆に廃棄物・食品リサイクルの目標が下回ったことは、残念。いろいろな事情があるのは分かるが、これはまず社員（管理職）が意識を持って、言い続けなければ効果が出ない。バタバタした座席レイアウト変更の中で、分別するのは非常にめんどうなのはよくわかるが、ほんの少しの労力で出来ることも確か。会議等で啓発していく事としたい。

3．ECO 検定　　人数目標は達成しているが、合格率が低い。これも会社として推進していることを理解させ、学習を慫慂していく。また、事業部として勉強会の開催等、新しい試みも取り入れていきたい。

■ 倉敷事業部 ■

☆ 活動実績と評価 ☆

事　業　部　名　：倉　　敷　　事　　業　　部

環境目標 項　目	実績評価（原単位:利用者人数1人当り） ①目標値	②実績値	③評価（②-①）	昨年度との実績比較 環境目標 項　目		単位	2014年度実績（A）	2015年度実績（B）	対前年度増減（B)-(A)
				利用者人数		人	70,184	68,347	▲ 1,837
①省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減	4.305	4.640	0.335	CO_2排出量		kg-CO_2	302,125	317,117	14,992
				使用実績内訳	電気	kWh	309,761	341,150	31,389
					灯油	ℓ	0	556	556
					A重油	ℓ			
					都市ガス	m3	37,293	33,662	▲ 3,631
					プロパンガス	kg			
	（kg-CO_2）/利用者数				ガソリン	ℓ			
					軽油	ℓ			
②分別･リサイクル推進による廃棄物(排出量削減(一般事業系)	115.8	85.2	▲ 30.54	廃棄物排出量（a)-(b)		t	8.124	5.824	▲ 2.300
				廃棄物量内訳	廃棄物発生量（a）	t	10.144	7.866	▲ 2.278
					リサイクル量（b）	t	2.020	2.042	0.022
	（g）/利用者数				リサイクル率（b）÷（a）	%	19.91%	25.96%	6.05%
③食品リサイクル率の向上	目標設定なし	－	－	食品廃棄物発生量（c）		t	18.229	20.384	2.155
				食品リサイクル量（d）		t	0.190	0.690	0.500
				リサイクル率（d）÷（c）		t	1.04%	3.39%	2.34%
④節水による総排水量削減	245.369	217.098	▲ 28.271	総排水量		m^3	17,221	14,838	▲ 2,383.0
	（ℓ）/利用者人数								
⑤グリーン購入の実施	①LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施								

⑥eco検定合格（受検）による環境意識の向上	前期まで合格者数	2015年度受検者数	7月合格者数	12月合格者	2015年度合格率	累計合格者数
	4名	3名	0名	0名	0%	4名

⑦スタッフ･お客様への啓発活動	･全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 ･お客様への掲示物などによる活動への理解促進･ご協力要請の推進。

※CO_2排出係数について、全施設での係数を0．699kg－CO_2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

※倉敷では、廃食用油のみリサイクルの為、食品リサイクル目標の設定はしておりません。

1ページ

【今年度の活動実績と評価】

目標値達成（④総排水量削減）、目標値未達成（①Co2 排出量、②廃棄物排出量、⑤ECO 検定合格者数）

①電気使用量は売上増に伴い増加。ガス使用量は珈琲館での削減と旅館大風呂の節水対策により減少している。
②今年度より目標設定をしました。分別や計測の見直しを行いました。旅館調理場の課員変更などの影響で、増加傾向にあります。今後指導を強化し削減に努めます。
③食品リサイクルは目標設定しておりません。業者探しに難航しており事務局とも相談中です。
④旅館の大風呂の節水対策が成功し、排水量削減に成功致しました。今後も継続致します。
⑤今年度は課員１名受験で不合格でした。来年度は残る正社員２名の合格を目指します。

■ 関連事業部・管理本部 ■

☆ 活動実績と評価 ☆

事　業　部　名　：関　連　事　業　部・管　理　本　部

環境目標 項　目	実績評価（原単位:利用者人数1人当り） ①目標値	②実績値	③評価（②−①）	昨年度との実績比較 環境目標 項　目		単位	2014年度実績（A）	2015年度実績（B）	対前年度増減（B）−（A）
				利用者人数		人	73,371	52,961	▲ 20,410
①省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減	目標設定なし	−	−	CO_2排出量		kg−CO_2	91,257	81,918	▲ 9,339
				使用実績内訳	電気	kWh	88,946	82,397	▲ 6,549
					灯油	ℓ			
					A重油	ℓ			
					都市ガス	m3			
	（kg−CO_2）/利用者数				プロパンガス	kg	9,481	7,871	▲ 1,610
					ガソリン	ℓ	268	299	31
					軽油	ℓ			
②分別・リサイクル推進による廃棄物（排出量削減（一般事業系）	目標設定なし	−	−	廃棄物排出量（a）−（b）		t	1.496	4.371	2.875
				廃棄物量内訳	廃棄物発生量（a）	t	2.393	5.079	2.686
					リサイクル量（b）	t	0.897	0.708	▲ 0.189
	（g）/利用者数				リサイクル率（b）÷（a）	%	37.48%	13.94%	▲ 23.54%
③食品リサイクル率の向上				食品廃棄物発生量（c）		t	5.734	6.925	1.191
				食品リサイクル量（d）		t	1.205	0.970	▲ 0.235
				リサイクル率（d）÷（c）		t	21.01%	14.01%	▲ 7.01%
④節水による総排水量削減	目標設定なし	−	−	総排水量		m^3	1,590	1,300	▲ 290.0
	（ℓ）/利用者人数								
⑤グリーン購入の実施	①LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施								

⑥eco検定合格（受検）による環境意識の向上	前期まで合格者数	2015年度受検者数	7月合格者数	12月合格者	2015年度合格率	累計合格者数
	29名	20名	2名	1名	15%	32名

⑦スタッフ・お客様への啓発活動	・全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 ・お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。

※CO_2排出係数について、全施設での係数を0.699kg−CO_2/kWhとします。（四国電力2013年実績）

※総排水量数値は、ストアマネジメント課の組織変更に伴い管理店舗なしの為、計上なしです。

1ページ

【今年度の活動実績と評価】

関連事業部は、店舗を持たずに物販を行うストアマネジメント課、住宅型有料老人ホームの施設をお借りして給食事業を行うフーズケア課、ロードサイドのセルフうどん店のあなぶき家からなっています。フーズケア課においては、テナントのために水光熱の数値を把握できる環境にはなく、運営施設数もH26年中増加施設が9施設、H27年中増加施設が3施設となり実績比較の結果は評価できないと判断します。全体での目標管理は難しい状況ではありますが、各施設での数値把握はできているため、今後個別での食品リサイクルやエコ活動へ役立てていきます。

エコピープルは3名合格であり、目標値には届きませんでした。より一層の努力が必要です。

管理本部及びストアマネジメント課は事務作業が中心のため、各社員のエコ意識の向上・モラルアップを中心に積極的に取り組んできました。その取り組みの中でも重要視しているのが、地域との共生と社員意識の向上を図るため、地方自治体のエコ活動やクリーン活動に積極参加することです。

各施設とも、数値管理や削減活動に制限があり明確な数値としては表れにくい状況ですが、スタッフへの意識づけを中心とし、できる限りの削減活動に期待したいと思います。

6. 今後のエコ活動計画

■ 全社環境目標 ■

環境目標項目			2015年度実績	2016年度目標
			目標値	
			基準年度（平成26年度）比 1.0%減	基準年度（平成26年度）比 2.0%減
1.省エネルギー化推進による CO_2 排出量削減	CO_2 排出量		※2.708 (kg-CO_2)/人	※3.175 (kg-CO_2)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（一般事業系）	一般事業系	排出量	38.97 (g/人)	39.03%（リサイクル率）
		リサイクル量	21.48 (g/人)	
	リサイクル率		35.54 %	
3.食品リサイクル率の向上	食品	発生量	33.96 (g/人)	71.60%（リサイクル率）
		リサイクル量	22.95 (g/人)	
	リサイクル率		67.57 %	
4.節水による排水量削減	排水量		39.885 (ℓ/人)	48.085 (ℓ/人)
5.グリーン購入の実施	LED電球の使用		白熱灯電球更新時のLED化推進	
	文房具		全購入品目において、エコマーク製品購入推進	
	設備機器・厨房機器等		更新時の高効率機器の採用 100%	
6.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	合格者数		2015年度末 195名	2016年度末 210名
7.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発	● 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施。 ● お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施。			

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.699kg-CO_2/kWh（四国電力 2013年実績）

■ 全社環境目標の達成に向けて、展開する主要なエコ活動計画の内容は、以下の通りです ■

『環境目標の達成に向けて全力を挙げて取り組みます。』

1. 『省エネルギー化の推進』に対して、「私たちは、こうします。」
   - ① 適正空調温度の管理（クールビズ・ウォームビズの実施）
   - ② 不要照明・エアコンの適正管理（ON-OFF管理と確認の徹底）
   - ③ グリーン購入対象機器等の更新促進

2. 『廃棄物分別・リサイクル』に対して、「私たちは、こうします。」
   - ① 缶・ビン・ペットボトルの分別・リサイクルの推進
   - ② 紙ゴミの分別・リサイクルの推進
   - ③ ミスコピーの廃絶（印刷前の倍率・サイズ等の再確認）

高松国際ホテル
（ゴミの分別の為の計量場所）

3.『食品リサイクル』に対して、**「私たちは、こうします。」**
① 食品材料の有効利用により発生抑制をします。
② 食品廃棄物の分別を徹底し、再生利用します。
③ 食品廃棄物の水切り、乾燥等により減量をします。

4.『節水』に対して、**「私たちは、こうします。」**
① 適正水量調整(節水こま等利用)による使用水量の削減
② 水使用場所での節水の呼び掛け徹底

ホテル事業部
(エコミーティングの様子)

5.『グリーン購入の実施』に対して、**「私たちは、こうします。」**
① エコマーク製品の購入に努めます。
② エコマーク製品以外の品目については、以下の項目を検討し、商品を購入します。
(1) 資源を持続可能な方法で採取し、有効利用していること。
(2) 再生された素材や再使用された部品を多く利用していること。
(3) 資源やエネルギー消費、環境被害を与えるような物質の使用及び放出が削減されていること。

6.『エコ検定合格(受検)』に対して、**「私たちは、こうします。」**
全スタッフのエコ意識を高めるため、計画的に受検を奨励し、環境問題への意識向上を図ると共にエコピープルを増やします。

7.『環境配慮啓発活動』に対して、**「私たちは, こうします。」**
① 全スタッフへの周知徹底(ミーティング、掲示等の有効利用)
② 定期的な実績報告による取組意識の維持向上

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の活動に関係する環境関連法規制等の遵守には、日頃から注意を払っております。
各施設において、適正に管理されており、関連機関からの違反等の指摘・環境関連の訴訟も過去5年間有りません。
下記に今年度の遵守状況の概要をご報告致します。

環境関連法規制等	対応状況
1. 食品リサイクル法	昨年6月に定期報告済み。適正に管理・記録しています。
2. 廃棄物処理法	3R活動の推進により、廃棄物排出量の抑制に努めており、産業廃棄物の排出においても適正に管理されています。
3. 自動車・家電・小型家電リサイクル法	対象商品の廃棄時は適正に手続きをしています。
4. 下水道法	排水グリストラップの日常清掃等により、より、環境負荷の少ない排水を放流しています。
5. 省エネ法	常日頃、節電に努めると共に、省エネ機器への更新等実施しています。定期の届出も適正に実施しています。
6. 容器包装リサイクル法	お客さまのご協力を得ながら、容器包装の発生抑制に努めています。また、定期の使用量報告、費用負担も適正に実施しています。
7. 大気汚染防止法	対象機器保有施設において、煤塵発生量測定等適正に実施しています。
8. フロン排出抑制法	各施設において適正に機器点検を実施し、管理・記録しています。
9. その他の法規制等	各施設において適正に管理・記録しています。

8. 各施設環境活動報告《目次》

各施設での１年間（2015 年４月～2016 年３月）の活動をレポートにまとめました。

1.指定管理者事業部

1-1. サンメッセ香川 …… 1
1-2. アルファあなぶきホール …… 2
1-3. 高松テルサ …… 3
1-4. マリンウェーブ …… 4
1-5. 香川県総合運動公園 …… 5

2.SA＆リゾート事業部

2-1. 津田の松原サービスエリア …… 6
2-2. クアパーク津田・クアタラソさぬき津田 …… 7
2-3. アルファ津田カントリークラブ …… 8
2-4. 上板サービスエリア …… 9

3.ホテル事業部

3-1. 高松国際ホテル …… 10
3-2. チサンイン高松 …… 11
3-3. ロイヤルパークホテル高松 …… 12
3-4. 琴平パークホテル …… 13
3-5. リーガホテルゼスト高松 …… 14

4.倉敷事業部

4-1. 旅館くらしき・倉敷珈琲館 …… 15

5.関連事業部・管理本部

5-1. あなぶき家 庭瀬店 …… 16
5-2. ストアマネジメント課 …… 17
5-3. フーズケア課 …… 18
5-4. 管理本部 …… 19

1-1.サンメッセ香川

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり） ①目標値	②実績値	③評価（②-①）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	1.581 (kg-CO2)/人	1.303 (kg-CO2)/人	▲ 0.278 (kg-CO2)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	66.429 (g)/人	76.0 (g)/人	9.6 (g)/人
3.食品リサイクル率の向上			
4.節水による総排水量削減	6.510 (ℓ)/人	6.300 (ℓ)/人	▲ 0.210 (ℓ)/人
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	1名	1名 ※2	100%
6.スタッフ・お客様への啓発活動	・廃棄物処理施設の視察 ・空調使用時の扉開閉の依頼		
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進： 館内外、優先順位の高いものから順次切り替えを実施しています。 文房具： グリーン購入対象製品を出来る限り優先して購入しています。（購入金額：￥57,985）		

申し訳ございませんが
非公表データとさせて頂きます。

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。（四国電力2013年実績）

※2：全従業員（10名）合格済み

【活動実績及びその評価】

前年度（2014年度）と比較して、CO_2排出量の削減が達成出来ました。
空調設備機器等の更新により、稼働効率の上昇及びエネルギーロスの防止することができ、
電力使用量及びガス使用量削減の結果となりました。
廃棄物排出量は、来場者数が増加したことにより可燃ごみを中心に増加となりました。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

☆ 館内照明の一部をLED照明に切り替えました。
☆ 外気を利用する事で、ロビー・エントランスの空調の運転を停止しました。
☆ 冷暖房使用期間においては、巡回時に扉開閉の確認を行うと共に来場者に対して扉を閉めていただくようご協力をお願いしました。
☆ 業務終了後は、不要なOA機器の電源を切り、待機電力による電気使用量の削減を行っています。
☆ 第一屋外展示場周辺の垣根に植栽を行いました。（276本）

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ 腐葉土として再利用できるよう、今までゴミとなっていた落葉の集積場所を設けました。
☆ リサイクル可能な物（トナー、シュレッダー、プルタブ、キャップ等）は、すべて回収しています。
☆ パブリックスペースの排出量削減については、主催者、利用者への協力依頼を行っています。
☆ ミスコピー、ミスプリントが発生しないよう事前確認を徹底しています。用紙、リサイクルコストの削減につながっています。
☆ エコキャップの回収を継続して行っており、累計263.2kgの廃棄物排出量削減に貢献しています。（累計 113,191個 H28.3.23時点）

《節水による総排水量削減について》

☆ 従業員及び協力会社において巡回時に、手洗い水栓・洗浄器具の漏水や器具に不備が無いか確認を行っています。
☆ 来館者に節水へのご協力をお願いするための「ご案内表示」を館内各所に掲示しています。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ 塵芥センターの生ごみリサイクル工場（塩江工場）及びリサイクル工場（大野工場）への視察を実施し、リサイクルの意識向上を図ると共にリサイクルが実施されていることの確認を行いました。
☆ 毎月、課員からエコ活動の提案を募り月毎に活動内容を決めて取り組んでいます。
☆ ドリンクサービス時に、ペットボトルのキャップを回収するため専用のボックスを備え付けています。

【次年度の取組内容について】

☆ 館内における照明のLED化を進めてまいります。
☆ 当年度から取り組んだ腐葉土の集積場所を拡充し、さらなる廃棄物排出量の削減を行います。
☆ 環境研修やセミナー、勉強会等参加による従業員の知識向上を行います。

以上

1-2.香川県県民ホール

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）		
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	4.421 (kg-CO2)/人	4.552 (kg-CO2)/人	0.131 (kg-CO2)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	14.9 (g)/人	15.0 (g)/人	0.1 (g)/人
3.食品リサイクル率の向上	0%	100%	100%
4.節水による総排水量削減	13.400 (ℓ)/人	10.700 (ℓ)/人	▲ 2.700 (ℓ)/人
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	2名	50%

申し訳ございませんが
非公表データとさせて頂きます。

6.スタッフ・お客様への啓発活動	・館内各所の表示によるお客様へのご協力依頼の実施。
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進：交換可能箇所はすべてLED電球へ交換済み。 文房具：可能な限りグリーン購入対象商品を購入。(購入金額　174,194円)

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

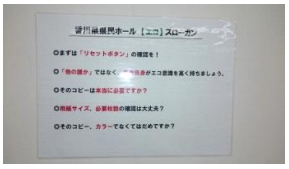
(インバーター修繕写真)

【活動実績及びその評価】

前年度と比較して、二酸化炭素排出量、総排水量の削減を達成することができました。
送風機のインバーター修繕(7台)が、電力の大幅削減に繋がりました。
また、施設利用、利用者数が減少したことが、総排水量削減の大要因であると考えられます。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

☆8月10日～10月18日の期間で、施設利用のお客様に許可をいただけた日に限り、
小ホール棟2機のエレベーターの内、1機のみの稼動とし、電力の削減に繋げました。
☆夜間帯に大ホール棟、小ホール棟ともに施設利用のない日には、小ホール棟を閉館することで、
不要照明、不要空調を削減することができました。



(エコスローガン写真)

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ミスコピー、ミスプリントがなるべく発生しないように従業員への意識づけを行っております。
☆レストラン宴会ゴミをできるだけ少なくするために、宴会主催者との打ち合わせで、
人数にあった料理量をご提案しております。
☆施設の利用打ち合わせの際に、お客様へできるだけごみのお持ち帰りを依頼しており、
持ち帰りができない方へは、可燃専用ごみ袋、不燃専用ごみ袋を販売し、分別にご協力いただいております。

《食品リサイクル率の向上について》

☆レストラン・宴会で発生するゴミの分別を徹底しております。回収業者様にもご協力をいただき、
昨年から引き続き、食品リサイクル率100パーセントを達成できました。
☆廃食用油のリサイクルに取り組んでおります。

《節水による総排水量削減について》

☆従業員による館内巡回を遅番担当の業務の1つとしており、毎日トイレの不要排水がないか
確認を行っております。
☆館内の配水を減圧し、節水に繋げております。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆塵芥センターの塩江工場、大野工場への視察を行い、ごみがリサイクルされるまでの過程を
実際に目で見て確認し、リサイクル意識を向上することができました。
☆毎月、施設管理業者との定例会を開催し、職員へ議事録を回覧し、意識向上を促しております。
☆館内各所に啓発表示、啓発ポスターを掲示しております。

(塵芥センター見学写真)

《グリーン購入の実施について》

☆可能な限り、グリーン購入対象商品を購入しております。

【次年度の取組内容について】

☆施設管理業者にご協力いただき、館内の空調設備、ボイラー機器などの見学を行い、従業員の知識向上を目指します。
☆エコユニット活動として、館外の清掃活動に取り組みます。
☆エコ検定4名が受験予定です。合格率100パーセントを目指します。

1-3.高松テルサ

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり） ①目標値	②実績値	③評価（②-①）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	2.948 (kg-CO2)/人	2.851 (kg-CO2)/人	▲ 0.097 (kg-CO2)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	13.9 (g)/人	8.0 (g)/人	▲ 5.9 (g)/人
3.食品リサイクル率の向上	100%	100%	100%
4.節水による総排水量削減	18.800 (ℓ)/人	19.500 (ℓ)/人	0.700 (ℓ)/人
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	2名	50%
6.スタッフ・お客様への啓発活動	・ スタッフへの勉強会を実施 ・ 館内に節電・節水表示で、ご協力の依頼		
7.グリーン購入の実施	文房具等はグリーン購入適合商品を購入（購入金額：137,252円税込）		

申し訳ございませんが
非公表データとさせて頂きます。

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。（四国電力2013年実績）

クールシェア

【活動実績及びその評価】

前年度と比較し、CO_2排出量及び廃棄物排出量を削減することができました。
協力会社との連携で、ピーク電力削減のためのデマンド監視スキームの徹底を行いました。
総排水量が増加した要因については、猛暑で冷却塔補給水の増加及び受水槽のひび割れ補修工事の為、増加したと考えられます。
毎年恒例のクールシェアを実施し、小・中学生総勢145名とともに保護者の方にも喜ばれました。

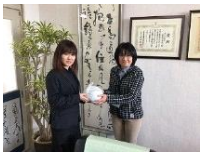
グリーンカーテン

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

☆ 照明器具のLED化を推進し、利用頻度の高い会議室から5部屋導入し、電力量削減に繋げました。
☆ 「グリーンカーテン」を実施し、フロア空調の温度を25℃から27.5℃に変更し、電力量削減に繋げました。
今年度はレストラン南側と事務所北側にも実施しました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ ペットボトルのキャップを回収しています。H27年度は18,275個と毎年増加しています。（H26年度　11,773個）
☆ プルタブの回収も定着し、継続して高松市立屋島小学校に寄付し、車椅子購入の一部になっています。
☆ 塵芥センターリサイクル工場を視察し、分別の大切さを再認識し意識向上に繋げました。


屋島小学校へ
プルタブ寄付

塵芥センター
リサイクル工場

《食品リサイクル率の向上について》

☆ レストランでの排出ゴミの分別を徹底し、食品リサイクル率100%を保っています。
☆ 産業廃棄物（廃食用油）の回収を協力会社に依頼し、リサイクルに取り組んでいます。

《節水による総排水量削減について》

☆ 館内に節水シールを貼付することにより、お客様への節水の協力依頼を呼びかけています。
☆ 定期的に館内を巡回し、水道から漏水や器具等に不備がないか確認を行っています。

ブランケット貸出し

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ クールビズ・ウォームビズ取組ポスターを館内に掲出し、必要に応じてブランケットの貸出を行っています。
☆ エコ検定合格率100%に向けて、毎月対象者へ模擬試験勉強会を実施し、意識向上に繋げています。

《グリーン購入の実施について》

☆ コピー用紙・文房具などを可能な範囲でグリーン購入に適合した商品を購入しました。

ミモザ・シンボルツリー

【次年度の取組内容について】

☆ 館内の会議室LED化をさらに推進し、電力量の削減に努めます。
☆ 稼働状況に応じたこまめな温度管理や照明の調整を行うなど、省エネルギーの徹底を行い、
CO_2排出量削減省資源、廃棄物削減などの活動を積極的に取り組んでまいります。
☆ 新聞を回収業者にご協力いただき、リサイクルに取り組んでまいります。
☆ ワークショップを行うことにより、地域と連携した環境活動やエコ意識の向上を目指してまいります。

1-4.三豊市文化会館（マリンウェーブ）

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）		
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	3.106 (kg-CO2)/人	2.687 (kg-CO2)/人	▲ 0.419 (kg-CO2)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	24.8 (g)/人	5.0 (g)/人	▲ 19.8 (g)/人
3.食品リサイクル率の向上			
4.節水による総排水量削減	15.800 (ℓ)/人	15.100 (ℓ)/人	▲ 0.700 (ℓ)/人
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	2名	0名	0%

申し訳ございませんが
非公表データとさせて頂きます。

6.スタッフ・お客様への啓発活動	・節水・節電のパネル展 ・月毎の館内MtGにてEA21活動報告
7.グリーン購入の実施	・購入を一元化し、グリーン購入を行い易くした。 ・職員が利用するものやお客様の目につかない物品は、アウトレット品などを購入した。

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

・マリンウェーブにおけるエコアクション21は2年目に入りました。前年度のデータを元に比較を行えるようになり、徐々に問題点の洗い出しが出来るようになってきました。
・利用者数の増加により、相対的に全体の使用量が上がっていきました。
・退館時の電気・空調の消し忘れを防止する為、チェックシートを独自に導入しました。
・毎月の館内MtGにおいてエコアクション活動の報告を行い、職員の当事者意識向上に努めました。
・前年度に引き続き、エコパネル展を開催しました。

エコパネル展

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

・館内照明の一部をLEDに変更し、節電に努めた為、電気使用量を下げる事が出来ました。
・利用数の増加から、灯油使用量が増えましたが、ホール利用率に対しての空調使用率は下がりました。
・グリーンカーテンを前年度よりも大きな規模で行いました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

・廃棄物の計算をより厳密に行いました。前年度ではNPO組織として同じ施設であるたくまシーマックスと合わせた排出量が出ていましたが、回収業者様とシルバー様にご理解・ご協力をお願いし、マリンウェーブだけの排出量を算出するように改善しました。
・ホワイエにおいて自動販売機を再設置したので、ごみの分別をお客様にお願いする啓示を行いました。

グリーンカーテン

《節水による総排水量削減について》

・貯水槽の不具合がありましたが、節水に努めていた為
　大幅に前年度を上回ることはありませんでした。
　不具合に関しては修理を業者様にお願いしています。
・館内の観賞用水槽から出る排水を、観賞用植物の水やりに再利用しました。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

・月毎の館内MtGにおいて、エコアクション21活動の報告を行い
　職員のエコ意識を維持・向上するように努めました。
・節電と節水の掲示を見直し、追加しました。掲示を新しくする事で、お客様へアピールしていきます。

節電チェックリスト

《グリーン購入の実施について》

・消耗品の購入で、ネット注文による一元化を図り、職員がグリーン購入しやすくしました。
・照明器具の一部をLEDに変更した為、電球のグリーン購入そのものを減らす事が出来ました。

【次年度の取組内容について】

・エコユニット活動の一環として、当社の所属しているNPOと協力して清掃活動に取り組みます。
・ホールを利用し、エコ活動に関連したイベントを行います。
・さらなる節電に努める為、日光が入りすぎる要所にカーテンを設置し、冷房の使用削減に努めます。

1-5.香川県総合運動公園

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）		
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	2.374 (kg-CO2)/人	2.45 (kg-CO2)/人	0.076 (kg-CO2)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	1.0 (g)/人	1.0 (g)/人	0.0 (g)/人
3.食品リサイクル率の向上			
4.節水による総排水量削減	138.500 (ℓ)/人	149.900 (ℓ)/人	11.400 (ℓ)/人

申し訳ございませんが
非公表データとさせて頂きます。

5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	施設内該当者は、全員取得済	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・月例会議等に従事者へ情報共有等実施。 ・各施設表示でのEA21取組協力依頼実施。
7.グリーン購入の実施	・物品購入時に可能な限りエコマーク商品・グリーン購入法適合商品を購入。（2015年度購入金額￥57,841）		

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

昨年よりCO2排出量・電気使用量・ガス使用量を削減することができ、良好に運営できたと判断しています。

総排水量が昨年より増加していますが、サッカー・ラグビー場のオーバーシード時期（9月26日～10月16日）に雨がなく、散水回数が12回（昨年6回）となったためです。

28年度も継続してエコ活動を行ってまいります。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

☆各施設に光熱費使用量を掲示し、『見える化』で削減を意識しました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆エコキャップ：回収業者に送付・リサイクルし、環境保護と再資源化につなげています。
☆ペットボトル・空き缶：ベンダー企業に回収を依頼し、リサイクルしています。
☆チップ化：リユース推進の一環として昨年度から引き続き、剪定で発生した枝葉を粉砕処理し、チップ化して植え込みに敷均し、再利用しました。剪定枝のチップは、土壌改良材としてだけでなく、カブトムシの産卵場所となり、成虫を育てる寝床に適していることから、香川県総合運動公園ではカブトムシを育て、イベント等で配布しました。

また、出来た腐葉土は香川県総合運動公園内の花壇や植栽、緑のカーテンで使用しております。（右図：平成27年度緑のカーテン実施）

《節水による総排水量削減について》

☆各施設およびお手洗い等に節水に関する啓発表示を実施しております。
☆芝・植栽への散水は中水を利用し、削減に努めました。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆香川県総合運動公園の全体会議や朝礼等において、従事者間での情報共有を実施しました。
☆各施設においてEA21への取組（節水・節電等）の啓発表示を実施し、お客様への協力を依頼させていただいております。

《グリーン購入の実施について》

☆物品購入時に可能な限りエコマーク商品・グリーン購入法適合商品を購入しております。（2015年度購入金額￥57,841）

【次年度の取組内容について】

☆各施設でのカーテン・ブラインドを有効利用し、空調や照明の効率化を図ります。
☆飼育したカブトムシをイベント等で配布予定にしています。
☆管理棟において夏の節電対策のため、緑のカーテンを実施します。
☆引き続き、エコキャップ回収活動を行ってまいります。

2-1.津田の松原サービスエリア

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	0.947	0.675	▲ 0.272	CO_2排出量	(kg-CO_2)	1,020,548	1,086,169	65,621
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	電気使用量	(kWh)	1,199,483	1,289,345	89,862
				ガス使用量	(m^2)	27,997	27,851	▲ 146
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	20.8	14.0	▲ 6.8	排出量((a)-(b))	(t)	22.523	22.843	0.320
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	59.795	59.900	0.105
				リサイクル量(b)	(t)	37.272	37.057	▲ 0.215
3.食品リサイクル率の向上	100%	100%	100%	排出量((c)-(d))	(t)	0	0.000	0.000
				総排出量(c)	(t)	43.213	41.654	▲ 1.559
				リサイクル量(d)	(t)	43.213	41.654	▲ 1.559
4.節水による総排水量削減	11.900	7.600	▲ 4.300	総排水量	(m^2)	13,030	12,225	▲ 805
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	2名	50%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・ミーティング時での周知、啓発（月/1回）			
7.グリーン購入の実施	・グリーン購入（本年度実績　161,104円）							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

☆エコ検定の合格者数　目標に対して50%の結果となりました。
　（7月：0名受験、12月：3名受験　→　2名合格）
☆エコ検定合格者数は、達成できませんでした。(1名不合格、1名退職)
☆電気使用量　89,862kwhのプラスに終わっています。（7月より下り線ファミリーマート開店が一番の原因です。）
☆豆吉琴平店、ファミリーマート津田の松原下り線店のデータを合算しています。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

☆冷房：26度、暖房：22度の設定を推進
　特に空調機の消し忘れを無くすよう朝礼、ミーティング等で訴えた。
☆投光器の照明をタイマー設定とした。着け消し忘れの解消のため(9月より)

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆エコキャップ回収運動　239.3kg　（近隣小学校へ）　割箸リサイクル　829.6kg
☆ごみ廃棄時の分別及び記録を継続して実施
☆段ボールリサイクル　協力会社に買い取りによる回収も継続　（平成27年4月～平成28年3月　実績　31,560kg）

《食品リサイクル率の向上について》

☆ゴミ排出の際の計量の継続的実施
☆うどんコーナー「いりこのかき揚げ」（H27年4月より販売　8,574個販売/約50g　428.7kgの削減）

《節水による総排水量削減について》

☆閉店後、水漏れ確認　最後の一締めの実施
☆食洗機　まとめ洗いの実施　排水量削減の意識づけができた。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆毎月1回　エコミーティングの開催
☆水光熱使用量の見える化グラフの掲示

《グリーン購入の実施について》

☆購入に関しては、カタログなどを確認し極力エコマーク製品を選びました。

【次年度の取組内容について】

☆エコ検定合格率100%を目指します。(12名中　9名合格　合格率75%)
☆既に取り組んでいる事案(ごみ分別、エコキャップ、割箸リサイクル、ミスコピーの回収)の精度を高めることに取り組みます。
☆施設内　掲示物、啓発物の一新をします。
☆空調機の更改の要望をしていきます。

2-2.クアパーク津田/クアタラソさぬき津田

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	10.187	10.943	0.756	CO_2排出量	($kg-CO_2$)	1,237,025	1,199,670	▲ 37,355
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	電気使用量	(kWh)	1,045,817	1,018,012	▲ 27,805
				ガス使用量	(m^2)	70,846	69,085	▲ 1,761
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	113.9	129.0	15.1	排出量((a)-(b))	(t)	13.845	13.583	▲ 0.262
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	18.248	18.722	0.474
				リサイクル量(b)	(t)	4.403	5.139	0.736
3.食品リサイクル率の向上	0%	100%	100%	排出量((c)-(d))	(t)	0	0.000	0.000
				総排出量(c)	(t)	6.576	7.790	1.214
				リサイクル量(d)	(t)	6.576	7.790	1.214
4.節水による総排水量削減	256.400	199.100	▲ 57.300	総排水量	(m^2)	31,165	21,831	▲ 9,334
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	3名	75%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・昨年との比較グラフの掲示による意識付け ・換気等を行い、空調だけに頼らず温度調整をした			
7.グリーン購入の実施	・グリーンマーク表示の物を優先的に購入							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

実績値評価は総排水量のみクリア（昨年は配管の故障があり使用量増）クアタラソ来館数減少（▲1,701名）により実績値評価が増加。
前年比としては、電気使用量削減に貢献できた。クアパークのチャンバー（8月）、冷蔵庫（1月）更新が主なプラス要因。 写真1
クアタラソでは**ガス使用量**削減の為に、熱交換器のプレートを取り外し1枚ずつ清掃。結果お湯の沸きが早くなり、
熱効率向上となった。 写真2
分別・リサイクル推進は、12/15SA、クアパーク、クアタラソで倉庫の大掃除を実施⇒排出量増加。**食品リサイクル率**は
クアパークにて、残飯の水分を減らすなどして努力をしていたが、SAの天ぷら返品処分があったため廃棄量が増加。
食品リサイクルにおける最終処分場（MCS）の見学をし、改めて分別の重要性を感じた。(3/22)

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

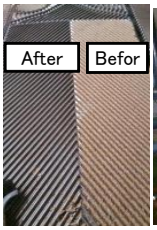
・厨房内冷蔵庫・冷凍庫を更新し、電気代が削減。(クアパーク)
・宿泊のお客様の部屋割り時、数か所に固めて部屋を割り振り、使用していないフロアは必要最低限の灯りで営業。(クアパーク)
・冷蔵庫・冷凍庫への詰め込みをやめ、ある程度スペースを設け、負荷がかからないようにした。(クアパーク)
・営業中の館内照明の点灯タイミングの見直しと改善。
・グリーンカーテンの面積増。(クアタラソ)
・タオル、アメニティー等なしのECOプランを見直し、再構築し販売。(クアパーク)
・浴槽、プールの保温シートを冬季のみから一年中に変更。ガス使用量の削減。(クアタラソ)
・熱交換機プレートの清掃(プール、着水プール、全身浴、トゴール、海水、男女浴室)
湯沸き時間の短縮。(クアタラソ)

写真1

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

・分別の徹底。不燃物項目をプラスチックと発泡スチロールに細かく分別。(クアタラソ)
・古くなったウッドデッキの修繕を行った際、廃棄処分予定の材木をお泊り保育時のキャンプファイヤーで利用。(クアパーク)
・アメニティー等、客室物品発注時、最小ロットを確認。在庫削減に成功。(クアパーク)
・残飯の分別時、水切りの徹底。(クアパーク)

写真2



《食品リサイクル率の向上について》

・宴会打合せ時、客層の聞き取りを実施し、出来る限り残飯が出ないようにした。(クアパーク)

《節水による総排水量削減について》

・館内巡回(2回)を3回に増やし、特に自動水洗部分の故障等の確認を意識し実施。(クアパーク)
・水漏れ放置等を防ぐ為、毎日決まった時間に、水使用量を確認・記録することにより、
総排水量削減。(クアパーク)

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

・ゲームコーナーの開店時間(平日12:30土日祝日10:00)・閉店時間(平日土21:00、日祝日19:30)を定めることで
使用電気の削減。(クアタラソ)
・お客様へマイタオル持参のご協力呼びかけ⇒クアタラソポイントカードにてポイント還元実施。リピーターのお客様には浸透。
(クアタラソ)(ビジター、法人数は前年より▲1,202名、タオル使用枚数前年より▲1,688枚、年間486枚、マイタオル活動の効果。)

《グリーン購入の実施について》

・グリーンマーク表示の物を優先に購入した。(クアパーク・クアタラソ)(H27年度総額：47,534円)

【次年度の取組内容について】

・27年度実施内容の継続。

2-3.アルファ津田カントリークラブ

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	10.479	11.371	0.892	CO_2排出量	(kg-CO_2)	349,667	374,704	25,037
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	電気使用量	(kWh)	284,748	308,697	23,949
				ガス使用量	(m^2)	4,492	5,142	650
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	79.8	42.0	▲ 37.8	排出量((a)-(b))	(t)	2.662	1.392	▲ 1.270
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	5.350	3.170	▲ 2.180
				リサイクル量(b)	(t)	2.688	1.778	▲ 0.910
3.食品リサイクル率の向上				排出量((c)-(d))	(t)			
				総排出量(c)	(t)			
				リサイクル量(d)	(t)			
4.節水による総排水量削減	223.700	341.600	117.900	総排水量	(m^2)	7,477	11,256	3,779
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	2名	0名	0%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・朝礼での周知及び事務所内に掲示板を設置 ・ゴミの分別・節水のご協力依頼の表示を増加			
7.グリーン購入の実施	・修正テープ・のり・ホワイトボード用のペン・スタンプ台・ファイルなどエコマークの付いた商品を購入。 合計金額 10,058円							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

昨年度と比べ来場者数は大幅に変更はしていませんが、給湯管の故障による水漏れ、レストランの経営会社変更に伴うゴミの排出量計上の変化など昨年度と比較はしづらいですが、目標達成できていない項目ばかりでした。
すべての項目において目標値及び活動内容を見直し、ゴルフ場全体の意識向上を目指して活動していきます。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

各部署に注意事項の掲示を増やし、電気・ガスの使用量削減に努めましたが目標を達成することができませんでした。
また、浴場の故障に伴い重油の使用量が増えたことも影響したと思います。28年度は重油からガスへと変更になりましたので、数値の変動を見つつ各部署の削減への啓発活動を強化していきます。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

H27．2月よりレストランが委託になりゴミの排出量を計上しなくなったので、前年度と比較は出来ません。
27年度の数値を参考にして、目標値を見直します。ゴミの分別・リサイクルはお客様のご協力を得て前年度よりも出来ていたと思います。

《食品リサイクル率の向上について》

H27．2月より経営会社変更に伴い27年度の数値は計上していません。

《節水による総排水量削減について》

前年度に引き続き給湯管の故障による水漏れの為、総排水量は増加しました。
ですが、故障箇所の判明、修繕工事を行い減少傾向になってきています。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

事務所内にエコ専用の掲示板を設置して、ゴミの排出量やエコに関係する資料をスタッフが見やすくできるようにしました。
お客様にご協力してもらえる活動（節水・ゴミの分別）の啓発表示を増やしました。

《グリーン購入の実施について》

引き続きエコマーク製品の使用・購入に努めました。事務用品（ボールペン・のり・修正テープ・スタンプ台・ファイル）のエコマーク製品は増えました。また、コース管理では排気ガスの少ないエコ対応の草刈り機を使用しています。

【次年度の取組内容について】

給湯管の工事により水漏れは減少し、総排水量は減ると思いますがさらなるお客様へのご協力依頼及びスタッフの節水意識向上の為、啓発表示を増やし、各部署に使用量を貼り総排水量の削減に努めます。
省エネルギー化推進の為、別会社ですがレストランにも光熱費の前年との比較の表を貼り出して節電・節水へのさらなる協力をお願いして、ゴルフ場全体でCO2排出量削減に努めます。

2-4.上板サービスエリア

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）		
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	1.199 (kg-CO2)/人	0.84 (kg-CO2)/人	▲ 0.359 (kg-CO2)/人
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	27.0 (g)/人	14.0 (g)/人	▲ 13.0 (g)/人
3.食品リサイクル率の向上	24.6%	26%	1%
4.節水による総排水量削減	10.000 (ℓ)/人	7.500 (ℓ)/人	▲ 2.500 (ℓ)/人
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	1名	25%
6.スタッフ・お客様への啓発活動	・ 月1回のエコミーティング開催 ・ スタッフ全員に取り組み内容の個別説明		
7.グリーン購入の実施	・ 消耗品、事務用品発注担当者によるエコ商品購入の実施 ・ 2015年度購入実績114千円		

申し訳ございませんが
非公表データとさせて頂きます。

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

本年度より、パート社員を含む全従業員にエコアクション21の説明を個別に行い、全スタッフによる活動ができるようにした。
上板SA独自の水光熱推移表を作成し、月々の使用量、支払額、お客様一人にかかる水光熱費の推移を休憩室に貼り出し従業員に対する意識付けを行っている。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

閑散時間帯のガス使用量を極力抑えるため、2台あるゆで麺器の1台を停止したり、照明スイッチに支障のない程度のOFF表示をし節電に努めるようにした。
メニュー改変をし、仕込み作業の廃止等をすることで効率化を図った。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

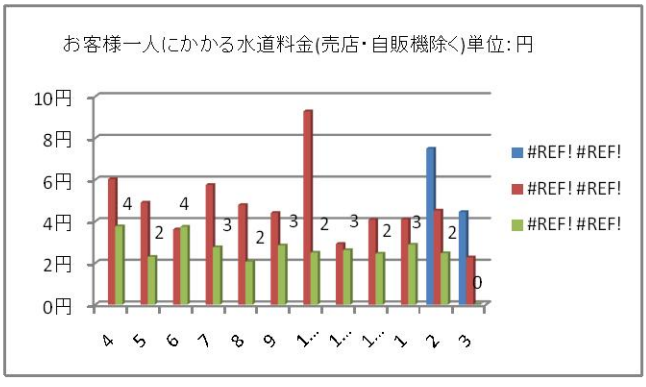
一般廃棄物については段ボールの買取を5月より導入。
金属ごみについてはリサイクル専門業者に委託し、排出量の削減につとめた。

《食品リサイクル率の向上について》

排出量抑制のため、メニュー改定により調理ゴミや残飯量の減量に努力し
徳島ラーメン等に使用している生卵の殻を水切り籠に投入することを廃止。
水分を少なくして重量を減らすことを2月より実施している。

《節水による総排水量削減について》

食器を洗浄する際、少量で洗浄機を動かすことを禁止し、繁忙期並みの
食器量を一度に洗うように12月より取組を開始した。



《スタッフ、お客様への啓発活動について》

お客様に対する啓発活動は現在のところ行えていません。
スタッフには毎月の電気・ガス・水道の使用量、支払額、お客様一人にかかる費用をグラフ化し、取組の見える化をしている。

《グリーン購入の実施について》

消耗品、事務用品の発注担当者は決まっているため、担当者に
環境にやさしい商品の購入を意識的にするよう指示している。

【次年度の取組内容について】

省エネルギー推進については、日々の業務の中に無駄使いが無いか検証し、スタッフから出て来るアイデアを取り入れることで大幅な削減は難しいが前向きな活動となるようにしていく。
大量に使用するレジ袋のリサイクル製品導入やメニュー改定により調理作業の効率化と食品廃棄量の削減につとめる。

3-1.高松国際ホテル

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	9.344	9.302	▲ 0.042	CO_2排出量	($kg-CO_2$)	1,804,421	1,789,904	▲ 14,517
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	電気使用量	(kWh)	2,156,260	2,127,600	▲ 28,660
				ガス使用量	(m^3)	122,764	125,151	2,387
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	132.4	152.0	19.6	排出量((a)-(b))	(t)	25.555	29.240	3.685
				廃棄物排出量(a)	(t)	38.448	42.117	3.669
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)	(t)	12.893	12.877	▲ 0.016
3.食品リサイクル率の向上	81.16%	77.23%	▲ 3.93%	排出量((c)-(d))	(t)	6.004	8.023	2.019
				総排出量(c)	(t)	31.878	35.231	3.353
				リサイクル量(d)	(t)	25.874	27.208	1.334
4.節水による総排水量削減	138.600	142.200	3.600	総排水量	(m^3)	29,789	27,357	▲ 2,432
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	7名	175%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・月毎の廃棄物計量数、各部署のリサイクル率等の掲示 ・館内にお客様へのご協力依頼掲示			
7.グリーン購入の実施	文房具：可能なものから購入							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

今回、現状に合った環境目標の見直しを行いましたが、CO2排出量以外はわずかに未達に終わり残念な結果となりました。
廃棄物においては総排出量は増加し、食品リサイクル率は、80%を切り、前年度実績より大きく後退しました。
電気に関しては照明のLED化やデマンドコントロール、コジェネの有効活用により削減できました。ガスに関してはコジェネを運転している関係上増加しましたが、結果的にはCO2また光熱費の削減を達成し、よい結果を生みました。
排水量に関しては、配管老朽による漏水はありましたが、全体の使用量は削減できました。しかし原単位レベルでの更なる見直しが必要です。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

LED化の推進、空調機の運転見直しやコジェネの有効運転などにより電気の使用量が削減されました。
コジェネの運転により、ガスの使用量は増えましたが、結果的にコジェネを有効運用した分CO2がされています。
節電活動を根気強く継続する必要があります。
ボイラーの省エネ診断を行い、深夜停止しても問題がないため停止時間を設定しました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

宿泊客の缶ゴミに関しては、別途分別回収し潰して廃金属として売却しています。
さらに範囲を拡大するには、缶つぶしの機器の購入が必要になってきます。
また、総量の削減はプラゴミを分けて計量しましたがごく少量で影響がないことが判明、更なる詳細な部署ごとの分析が必要。
分別が目的ではなく廃棄物の減量が目的であることを再認識していただくことが必要である。

《食品リサイクル率の向上について》

概ね厨房関係は100%に近いですが、宴会ゴミはリサイクル率が50%しかなく、全体で80%割り込み大きく悪化しました。
ｸﾘｴｰﾀなど外注人員が多く毎回の教育がなされていなかったのが原因と思われる。外注人員への教育周知が今後の課題である。

《節水による総排水量削減について》

節水器具等の導入や節水の実施を告知しています。総量では減少しましたが、原単位レベルでは増加しました。
配管老朽化のため、漏水もありました。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

エコ検定は合格目標人数は達成していますが、合格率は28%と全国平均約60%を下回っています。そのことからもスタッフのエコ意識の低下があらわれではないかと思われる。今一度、会社方針であることを職長含め、認識していくことが急務である。
客室内等々にエコ活動に取り組み実施を掲示物等で告知しています。

《グリーン購入の実施について》

コピー用紙を中心に購入継続。

【次年度の取組内容について】

全体の活動として新規教育やエコミーティングの回数が少なくエコ意識レベルの低下を誘因していると思われ、エコ意識レベルの格差が生じている。定期的な教育、ミーティングを必ず実施し、個々の意識レベルの格差を是正することを目指し、この取り組みを通して業績向上できるということを浸透させていきます。
具体的には、エコ検定の合格率向上、地震に対する防災訓練、さらなるLED化の推進を進めていきます。

3-2.チサンイン高松

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	12.626	11.872	▲ 0.754	CO_2排出量	($kg-CO_2$)	381,800	391,037	9,237
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	電気使用量	(kWh)	365,033	379,469	14,436
				ガス使用量	(m^2)	55,172	54,800	▲ 372
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	201.0	230.0	29.0	排出量((a)-(b))	(t)	6.103	7.589	1.486
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	10.039	9.557	▲ 0.482
				リサイクル量(b)	(t)	3.936	1.968	▲ 1.968
3.食品リサイクル率の向上 ※2	目標設定なし	－	－	排出量((c)-(d))	(t)	0.651	0.514	▲ 0.137
				総排出量(c)	(t)	0.651	0.514	▲ 0.137
				リサイクル量(d)	(t)	－	－	－
4.節水による総排水量削減	518.000	496.100	▲ 21.900	総排水量	(m^2)	15,663	16,339	676
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	0名	0%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・連泊のお客様へベッドシーツや枕カバー ・交換不要の意思表示ECOカードを全室設置			
7.グリーン購入の実施	文具・消耗品：グリーンマーク対象品を積極購入¥188,846-							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)　　※2：食品リサイクル率は、朝食のみ提供で廃棄物が少ない為、設定していません。

【活動実績及びその評価】

CO2排出量に関して、8月・9月の宿泊人数増（827人）電気使用量が目標数値を大幅に超えた為、ガス使用量は削減出来たにも関わらず、削減目標をクリアー出来なかった。

総排水量は施設配管からの水漏れ、排水効率の悪い旧式型トイレ故障の影響で
目標にも遠く及ばなかった。水回り設備の修繕・改修がチサンエコ活動での最重要課題と思われます。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

☆　ロビーの照明を24時から6時30分まで必要最小限の物を残し消灯しています。
☆　ロビーの空調も上記時間帯で停止しています。

《　分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について　》

☆　廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品業者様に梱包材（ダンボール等）の回収を依頼しています。
☆　プリンターカートリッジのリサイクル回収（100%回収）をしています。
☆　1月よりテレビ番組表のコピーを廃止ました。

《食品リサイクル率の向上について》

レストランは朝食専用にて使用しており、前日の予約にて利用者数を把握し、般廃棄物として処理しております
調理済みの食材使用や、利用者数に合わせた食材の仕入れを実施し食品廃棄物の発生を軽減するように務めています。

《節水による総排水量削減について》

☆　各所への啓発表示を実施しております

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

フロントスタッフや清掃委託業者の目につく場所にエコ啓発のポスターや、削減手順書を掲示

《グリーン購入の実施について》

☆　可能な限り文具・消耗品等、グリーン購入に適した商品を購入しました。

【次年度の取組内容について】

☆　照明器具のLED化促進等高効率機器への更新促進
☆　水回り設備の修繕・改修がチサンエコ活動での最重要課題と思われます。

3-3.ロイヤルパークホテル高松

【運用期間：2015年4月～2016年2月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～2月）※2	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	15.358	15.328	▲ 0.030	CO_2排出量	($kg-CO_2$)	779,331	670,468	▲ 108,863
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	電気使用量	(kWh)	838,519	731,592	▲ 106,927
				ガス使用量	(m^2)	84,171	69,306	▲ 14,865
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	231.4	221.0	▲ 10.4	排出量((a)-(b))	(t)	11.738	9.644	▲ 2.094
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	14.552	11.903	▲ 2.649
				リサイクル量(b)	(t)	2.814	2.259	▲ 0.555
3.食品リサイクル率の向上	76.21%	75.11%	▲ 1.10%	排出量((c)-(d))	(t)	1.791	1.006	▲ 0.785
				総排出量(c)	(t)	7.224	4.041	▲ 3.183
				リサイクル量(d)	(t)	5.433	3.035	▲ 2.398
4.節水による総排水量削減	266.900	284.500	17.600	総排水量	(m^2)	13,546	12,444	▲ 1,102
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	2名	1名	50%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	バックヤードのエレベーター内に掲示板を設置 ホテル周辺を月曜午前に行い美化意識の向上			
7.グリーン購入の実施	文房具、やトナーカートリッジ等を購入 ・							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

※2：ロイヤルパークホテルは、2月以降は改修工事に伴い休館の為、1年分の実績数値ではありません。

【活動実績及びその評価】

昨年と同様、今年度も、異動によるエコアクション担当者の変更により、途中で少々てこずりましたが、前任者との相談の上行いました。

今年度の環境目標項目は、1.CO2排出量削減、2.廃棄物排出量削減において原単位目標達成となりました。

しかしながら、3.食品リサイクル率の向上、総排水量削減は、未達成となってしまいました。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

・夜間24時から7時までは客室以外の空調をストップしています。ロビーの照明についても24時から6時までは必要最低限のもの意外は消灯しています。

・レストランでは、クローズタイムの消灯を徹底し、調理場への行き来は階段利用を徹底しています。

清掃業者に宴会場清掃後の消灯の徹底、また、宴会、レストランが終了した後の消灯をフロントで確認し、実行しました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

・紙ごみをリサイクルに回せるように、シュレッダー横に紙ごみ専用ゴミ箱を置いています。

・コピー用紙をフロントにて一括購入し、各部署の使用量の把握、不要なコピーの削減を呼びかけました。

・清掃業者の協力により、ゴミの分別を継続して行っております。その際、個人個人での分別に差が出ないように、ゴミ置き場及び掲示板や清掃業者への口頭による指導を行いました。清掃業者への口頭による指導を行いました。

《食品リサイクル率の向上について》

・食材を無駄にしないような在庫管理をし、発注を行っております。

・引き続き、宴会場、調理場で発生するゴミの分別を徹底して行っております。また、宴会場での生ゴミに生ゴミ以外の物（紙、爪楊枝等）が混入していたので、口頭にて指導及び、掲示板にて絵で分かり易く掲示しました。

《節水による総排水量削減について》

・調理での流水による解凍を全面ストップ、事前に自然解凍を徹底した。

・清掃業者へに協力のもと、バスルームの清掃の際、出しっぱなしでの清掃をできるだけなくしていただきました。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

・スタッフ及び、清掃業者へのゴミの分別の徹底。また、重さを量る際に夜は見難いなどの声があった為、計量用の秤の移動。

・バックヤードエレベーターに掲示板を設置、

・ホテル周辺の清掃を、毎月第二月曜日午前中に行い美化に努めました。

《グリーン購入の実施について》

・通常備品についてはエコマーク製品を極力購入を心がけています。

【次年度の取組内容について】

・排水量の削減。調理、レストラン、清掃業者すべての節水意識の向上。洗い場での溜め置き洗い、客室清掃での節水意識等。

・不在時の空調、照明オフを徹底。リニューアルに伴い客室備品をエコ製品に。

・リニューアルオープン前に、全スタッフを集めて、エコアクション21への説明、啓蒙。

3-4.琴平パークホテル

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	10.900	10.575	▲ 0.325	CO_2排出量	($kg-CO_2$)	307,389	297,302	▲ 10,087
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	電気使用量	(kWh)	344,357	328,987	▲ 15,370
				ガス使用量	(m^2)	29,051	29,337	286
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	146.0	139.0	▲ 7.0	排出量((a)-(b))	(t)	4.095	3.908	▲ 0.187
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	6.194	6.026	▲ 0.168
				リサイクル量(b)	(t)	2.099	2.118	0.019
3.食品リサイクル率の向上 ※2	目標値設定なし	－	－	排出量((c)-(d))	(t)	0.575	0.691	0.116
				総排出量(c)	(t)	0.575	0.691	0.116
				リサイクル量(d)	(t)	－	－	－
4.節水による総排水量削減	350.600	376.100	25.500	総排水量	(m^2)	9,888	10,575	687
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	0名	0%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・連泊のお客様へベッドシーツや枕カバー交換不要の意思表示ECOカードを全室設置			
7.グリーン購入の実施	・コピー用紙を始めペン、インクなどグリーン購入を実施。 ・平成27年度グリーン購入総額71,489円							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)　　※2：食品リサイクル率は、朝食のみ提供で廃棄物が少ない為、設定していません。

【活動実績及びその評価】

利用者人数が昨年度27927名よりも187名増加した28114名でありましたが、バスルームの全室LED電球への交換が終わったこともあり,電気使用量を抑える事ができました。しかし総排水量は施設地下配管からの水漏れが発生するなど、前年よりも増加しています。
今後、エコ活動を啓発していく中で、築年数の長い設備の保守点検を行う事も琴平パークホテルの課題になると思われます。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》
お客様が利用されないチェックアウト後の客室において、空調や照明を消灯。
前年度よりの課題のユニットバスの電球を全室LEDへ変更完了。
館内のドリンク販売機を省エネタイプの物を運用してCO2排出量の削減に努めています。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》
シュレッダーごみの廃棄を古紙回収業者に依頼してリサイクルしています。
プリンターのカートリッジインクのリサイクル回収を100%実施しています。
客室のティッシュについて、ケースが廃棄物にならないように詰め替え式のものを運用しています。

《食品リサイクル率の向上について》
食事提供は朝食のみなので、食品リサイクル率向上についての取り組みは食材に無駄がでないように
朝食スタッフと連携して計画的な食材の発注をしています。

《節水による総排水量削減について》
リラックス効果のあるシャンプー、リンス、ボディソープに加えてハンドソープを追加して顧客満足を向上させた為
1人あたりの水の使用量が増加しました。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》
フロントスタッフや清掃委託業者の目につく場所にエコ啓発のポスターや、削減手順書を掲示
お客様がお土産購入時、ビニール袋の有無を確認、不必要なゴミの増加削減に努めています。

《グリーン購入の実施について》
通常購入備品について、エコマーク製品の購入に努めました。

【次年度の取組内容について】
今後もエコ活動推進の為、スタッフやお客様への啓発活動の推進に努めます。
事務所など、個別調整が可能な空調の温度を夏：28℃ 冬：20℃に設定
ゲスト未使用時のレストランやフロアの空調、照明のオフ啓発、及び館内の巡回による実施状態の確認と指導

3-5.リーガホテルゼスト高松

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	8.118	7.565	▲ 0.553	CO_2排出量	($kg-CO_2$)	1,441,173	1,421,284	▲ 19,889
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	電気使用量	(kWh)	1,639,865	1,654,684	14,819
				ガス使用量	(m^2)	127,485	114,257	▲ 13,228
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	110.9	112.0	1.1	排出量((a)-(b))	(t)	19.628	21.637	2.009
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	32.801	34.649	1.848
				リサイクル量(b)	(t)	13.173	13.012	▲ 0.161
3.食品リサイクル率の向上	64.68%	67.09%	2.41%	排出量((c)-(d))	(t)	12.123	11.053	▲ 1.070
				総排出量(c)	(t)	33.379	33.587	0.208
				リサイクル量(d)	(t)	21.256	22.534	1.278
4.節水による総排水量削減	120.800	121.200	0.400	総排水量	(m^2)	21,430	22,771	1,341
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	6名	9名	150%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・地下の掲示板に環境活動実績管理表の掲示 ・ホテル周辺清掃による美化意識の向上			
7.グリーン購入の実施	・出来る限りエコマーク製品の購入の実施 今年度983千円/前年度649千円/対前年比151.5%							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

今期は、環境目標項目のCO2排出量削減、廃棄物排出量削減、食品リサイクル率において、原単位目標は達成となりました。
しかしながら、総排水量削減においての原単位は未達成となっております。
CO2排出量削減等は、不要な照明の消灯・空調のコントロール等の日々細かく削減活動の継続が実った結果と考えております。
総排水量削減に関しては、宿泊並びに宴会利用人数の増加が大きいと考えられます。
エコ検定合格者は想定より増となり、弊社全体での環境方針の意識が少しづつでも浸透してきたのではと評価致します。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

☆ 前年度10月より最大デマンドを560kwから520kwに縮小して、電力消費削減を図ってきました。ホテル利用人数増という要因に伴い、0.9%電力量増となりましたが、年間を通しての弊社電気料金コストは対前年度より 3.1%カットに至っております。
☆ スタッフ不在時の照明オフ・空調適温度での指導は行ってきました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ 宴会利用のお客様が前年度より約10,000人増という結果に伴い、廃棄物排出量も増加となってしまったが、原単位管理は減少。レストラン・宴会で発生するゴミを分別、回収業者にもご協力をいただき、削減効果が得られました。
☆ 課員及び派遣委託スタッフ・パートアルバイトによって分別の差がみられる故、分別の際の指示や教育が必要と感じております。

《食品リサイクル率の向上について》

☆ 食材に無駄が出ないような少量発注並びに食材の余りにて新商品開発目的も含めた試作品等にも使用しました。
☆ 結果に反映したかどうかは未検証ですが、料理プレート盛りのポーション少量化へのチャレンジ。

《節水による総排水量削減について》

☆ 宴会利用のお客様が前年度より約10,000人増という結果に伴い、総排出量及び原単位管理も増加してしまった。
☆ テナントが1店舗増となった要因も考えられるが、今後、日々出社時と退社時の水道メーター数値の確認と報告の実施。
☆ 衛生管理を踏まえた手洗いや洗浄関係の義務強化。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ リーガ勤務スタッフにわかるよう、地下の掲示板に環境活動実績管理表グラフを張り付けて見える化した。
☆ 事業所周辺地域とのコミュニケーションの一環とホテル周辺の美化を目的として、毎月１回ホテル前からあなぶきセントラルビル前歩道のごみ掃除を実施してきました。

《グリーン購入の実施について》

☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入を心がけています。
購入金額：今年度983千円／前年度649千円　前年に対して51.5%増となる推進購入

【次年度の取組内容について】

☆ エコ検定合格（受験）によるエコピープルの増加と環境意識の向上。
☆ スタッフ不在時の空調・照明オフの啓発、指導の徹底の継続。
☆ 他部署の活動（ペットボトルキャップの分別等）で、自部署でも出来る活動の水平展開。
☆ 現場で見つける無理・無駄・ムラを排除する改善提案を業務改善会議等での議案に織り交ぜ、少しでも環境負荷の少ないホテルを目指していきます。

4-1.旅館くらしき/倉敷珈琲館

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	4.262	4.64	0.378	CO_2排出量	($kg-CO_2$)	302,126	317,117	14,991
				電気使用量	(kWh)	309,761	341,150	31,389
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	ガス使用量	(m^2)	37,293	33,662	▲ 3,631
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	54.5	85.0	30.5	排出量((a)-(b))	(t)	1.909	5.824	3.915
				廃棄物排出量(a)	(t)	4.305	7.866	3.561
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)	(t)	2.396	2.042	▲ 0.354
3.食品リサイクル率の向上※2	目標値設定なし	－	－	排出量((c)-(d))	(t)	18.229	19.694	1.465
				総排出量(c)	(t)	18.419	20.384	1.965
				リサイクル量(d)	(t)	0.190	0.690	0.500
4.節水による総排水量削減	242.600	217.100	▲ 25.500	総排水量	(m^2)	17,221	14,838	▲ 2,383
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	0名	0%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	掲示物などにより、従業員、お客様、ご協力会社へ啓発を行う。			
7.グリーン購入の実施	必要最低限の購入を心掛け、詰替用の購入を推進致しました。 ・エコマーク商品の購入に努め、購入商品の見直しを行いました。							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)　　※2：食品リサイクル率については、リサイクル業者の手配が困難なため設定しておりません。

【活動実績及びその評価】

（旅館くらしき）
館内各所に節電、節水の張り紙を提示し、空調の温度設定にも気をつけました。
その結果、各部署で積極的に節電・節水に取り組まれている様子が伺えました。
（倉敷珈琲館）・節電、節水に関して担当者が定期的に点検を実施。課員に注意を促し意識改革を行いました。
・テナントの倉敷桃子と繋がるバックヤードにも節電、節水を促すシールを貼り、倉敷事業部全体のエコ活動底上げを行いました。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

（旅館くらしき）
館内の電球をLEDへ変更中です。短い時間でも不要な電気はオフにしております。
（倉敷珈琲館）・館内照明を随時LED電球に変更していっております。
・バックヤードの空調を必要時以外は使用を控え、冬季にはエアコンより電気ストーブなどを用い節電に取り組みました。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

（旅館くらしき）
ゴミの分別は実践しているので、このまま継続します。
（倉敷珈琲館）・分別の徹底。課員にも浸透し、意識向上が見られます。
・不燃物のビンなどは、今までは珈琲館から廃棄物として出していましたが、仕入業者への引渡しを行うように致しました

《食品リサイクル率の向上について》

（旅館くらしき）
・調理場にて、食品の二次加工・三次加工を実践中です。
・定期的な汚泥処理を行いました。
・廃油のリサイクルに取り組みました。

《節水による総排水量削減について》

（旅館くらしき）・昨年は常時掛け流しの「離れ湯」をお客様の状況によって臨機応変に対応。節水に大きく影響しました。
・洗い場スタッフの溜め洗いは継続、蛇口ハンドルの緩みを館内チェックし、少しでもムダが出ないよう対策をしました。
（倉敷珈琲館）・節水のシールを貼り、食器洗浄の際の水の使用を抑えるよう指導致しました。
・従業員用の洗面台蛇口ハンドルに工夫をし、水が出にくく、止め忘れが無くなる対策を致しました 。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

（旅館くらしき）
スタッフへのゴミの分別の徹底、室内エアコンの温度調整等、お客様にご迷惑がかからない程度に実施を促しました。
（倉敷珈琲館）
（スタッフ）節水、節電に関してその都度指導し、ごみ排出削減を呼びかけました。（お客様）トイレにて節水のご協力をお願いしました。

《グリーン購入の実施について》

（旅館くらしき）
エコマーク・グリーン購入の商品を極力選ぶようにしている。
（倉敷珈琲館）
商品購入時にグリーン購入調達状況報告書の記入を課員に徹底。今まで購入していた商品をリサイクル商品へ見直しを行いました。

【次年度の取組内容について】

・旅館くらしき、倉敷珈琲館を中心にテナントを含めた倉敷事業部全体のエコ活動の底上げを行う。
・定期的な点検を継続し更なる節電、節水に努めます。
・経験豊富な他事業部の取り組みを参考にしつつ活動の幅を広げていきたいと考えております。
・正社員全員のエコ検定合格を目指します。

5-1.あなぶき家　庭瀬店

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1	1.614	1.453	▲ 0.161	CO_2排出量	($kg-CO_2$)	77,703	69,121	▲ 8,582
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	電気使用量	(kWh)	70,445	65,082	▲ 5,363
				ガス使用量	(m^2)	4,580	3,802	▲ 778
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）	122.3	80.0	▲ 42.3	排出量((a)-(b))	(t)	5.889	3.790	▲ 2.099
				廃棄物排出量(a)	(t)	6.321	3.998	▲ 2.323
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)	(t)	0.432	0.208	▲ 0.224
3.食品リサイクル率の向上	23.01%	14.01%	▲ 9.00%	排出量((c)-(d))	(t)	4.529	5.955	1.426
				総排出量(c)	(t)	5.734	6.925	1.191
				リサイクル量(d)	(t)	1.205	0.970	▲ 0.235
4.節水による総排水量削減	31.300	27.300	▲ 4.000	総排水量	(m^2)	1,508	1,300	▲ 208
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	0名	0%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・スタッフに具体的な指示、教育。 ・店舗内啓発チラシ貼り付け。			
7.グリーン購入の実施	グリーンマーク対象品を極力購入							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

概ねほぼ総じて目標値を達成できたと思います。さらに設定目標値の検証も実施し、来年の活動につなげて行きます。

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

☆湯で釜のガスは閑散時最小に絞っています。
☆便座のふたを常に閉めています。
☆営業時間外は必要最小限の照明にて作業いたします。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆生ごみの水切りを行っています。
☆プリンターカートリッジのリサイクル回収（100%回収）をしています。

《食品リサイクル率の向上について》

☆食材に無駄が出ないよう、在庫管理を徹底し商品発注をしています。
☆昨年データを基に、食品廃棄ロスを極力おさえています。
☆産業廃棄物（廃食用油）のリサイクルに取り組んでいます。（※廃食用油は、BDFへとリサイクルされています。）

《節水による総排水量削減について》

☆啓発チラシを各所に掲示し意識づけをしております。
☆朝礼にて節水等、光熱費の削減を指示、教育しております。
☆洗浄機の使用頻度を削減するよう努めています。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆店舗、事務所各所に啓発チラシを掲示しています。

《グリーン購入の実施について》

☆通常購入備品についてエコマーク製品の購入は次年度取り組み課題となりました。

【次年度の取組内容について】

☆フロア空調・照明オフの啓発及び巡回による実施状態の確認と指導の徹底。
☆更なるエコ活動の推進の為スタッフ、お客様への啓発活動の推進。
☆永年劣化していく空調機器、厨房設備のフィルター掃除などケアの実施。

5-2.ストアマネジメント課

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1				CO_2排出量	($kg-CO_2$)			
				電気使用量	(kWh)	8,818		
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	ガス使用量	(m^2)			
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）				排出量((a)-(b))	(t)	1.016		
				廃棄物排出量(a)	(t)	1.016		
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)	(t)	0		
3.食品リサイクル率の向上				排出量((c)-(d))	(t)			
				総排出量(c)	(t)			
				リサイクル量(d)	(t)			
4.節水による総排水量削減				総排水量	(m^2)	82		
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上				6.スタッフ・お客様への啓発活動	・ ・			
7.グリーン購入の実施	・ ・							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

現状はあなぶきグループ各社を対象にギフトの受注及び販売業務を行っており、当社津田の松原サービスエリアのうどんや菓子類などの既存商品を販売しております。商品は製造元（お取引先）から購入者に直送されるため、ストアマネジメント課としてはお取引先に当社のエコアクションの取り組みにご理解いただき、また、先方の環境活動もヒアリングした上でお取り引きをしております。

主要取引先の取り組み

●うどん製造会社では、環境に配慮したギフト包装（簡易包装）を取り入れいる。

●菓子製造会社では、紙袋や包装紙に再生紙を使用し、ナイロン袋には焼却してもダイオキシンが発生しない新素材を採用。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

取引先から商品を直送する際に、梱包資材（化粧箱、包装紙、紙袋）の無駄遣、破損廃棄がないよう配慮していただいてます。

《グリーン購入の実施について》

備品や事務用品などを購入する際に、環境面とコストを考慮した上で物品を選定しています。

【次年度の取組内容について】

●ミスコピーを減らす。カラーコピーは必要最低限とし、基本はモノクロでコピーします。

●メンバーが2人だけのため、情報共有や連絡をする際には紙ではなくメールや口頭で行うようにします。

5-3.フーズケア課

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価（原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価（②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進によるCO_2排出量削減※1				CO_2排出量	($kg-CO_2$)			
				電気使用量	(kWh)			
	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	(kg-CO2)/人	ガス使用量	(m^2)			
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（食品廃棄物を除く）				排出量((a)-(b))	(t)	3.756	20.773	17.017
				廃棄物排出量(a)	(t)	3.756	20.773	17.017
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	リサイクル量(b)	(t)	0	0.000	0.000
3.食品リサイクル率の向上				排出量((c)-(d))	(t)	51.452	73.014	21.562
				総排出量(c)	(t)	51.452	73.014	21.562
				リサイクル量(d)	(t)	0	0.000	0.000
4.節水による総排水量削減				総排水量	(m^2)			
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	1名	25%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・厨房内の各所にエコ啓発掲示物を掲示			
7.グリーン購入の実施	・LED電球の使用促進（メディカル管轄のため） ・文房具用品使用ありません							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

☆今期は、施設ごとに、ゴミの分別を徹底し、排出量の把握をすることができました。

☆エコ検定試験の合格者数は、目標に対して25%の結果となりました。
（7月　4人受験　合格者なし、　12月　11人受験　1名合格）

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

☆厨房内の照明は、作業時間のクローズタイム時に消灯しております。

☆冷蔵庫内の収納は、常に冷気が回るように省エネを意識して整理しています。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆納品業者による梱包材（ダンボール等）の回収を継続しております。

☆詰め替え可能容器を購入し、ゴミを出さないようにしております。

《食品リサイクル率の向上について》

☆食材の有効活用を行うために、調理方法の工夫をし、廃棄物の削減に努めております。

☆食材に無駄が出ないよう、在庫管理を徹底し、材料を発注しています。

《節水による総排水量削減について》

☆各所へ啓発表示を実施しております。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆メディカルフロアスタッフと連携をとりながら、入居者個々の食事量を提供できるように努めております。

《グリーン購入の実施について》

☆対象商品を購入する機会は、少ないが、エコマーク商品を常に意識しております。

【次年度の取組内容について】

☆エコ検定合格・受検による環境意識の向上

☆従業員不在時の照明・空調のスイッチオフの啓発、指導の徹底

AL東千石

AL 岡山野田

AL松山本町

5-4.管理本部

【運用期間：2015年4月～2016年3月】

環境目標項目	実績値評価□原単位：利用者人数1人あたり）			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価□②-①）	環境目標項目	単位	④2014年度（4月～3月）	⑤2015年度（4月～3月）	⑥昨年比増減（⑤-④）
1.省エネルギー化推進による□	1.81	2.38	0.570	CO_2排出量	($kg-CO_2$)	7,391	12,797	5,406
	(kg-CO2)／人	(kg-CO2)／人	(kg-CO2)／人	電気使用量	(kWh)	9,683	17,315	7,632
				ガス使用量	(m^2)	0	0	0
2.分別・リサイクル推進による□	117.8	108.0	▲ 9.8	排出量（(a)-(b)）	(t)	0.480	0.581	0.101
	(g)／人	(g)／人	(g)／人	廃棄物排出量(a)	(t)	0.945	1.081	0.136
				リサイクル量(b)	(t)	0.465	0.500	0.035
3.食品リサイクル率の向上				排出量（(c)-(d)）	(t)			
				総排出量(c)	(t)			
				リサイクル量(d)	(t)			
4.節水による総排水量削減	－	－	－	総排水量	(m^2)	－	－	－
	(ℓ)／人	(ℓ)／人	(ℓ)／人					
5.eco検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	2名	50%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・ ・			
7.グリーン購入の実施	・文房具：グリーンマーク対象製品の購入を推進しています。							

※1：CO2排出係数は、0.699kg-CO2/kWhとします。(四国電力2013年実績)

【活動実績及びその評価】

☆　エコ検定の合格者数は目標に対して50%という結果となりました。（受験者数2名、合格者数1名：合格率50%）

☆　地方自治体の取り組みに積極的に参加しました。

・高松市ライトダウン（H27.5）　・高松市主催　中央通り清掃（毎月年12回）　・ムーンナイトSHIKOKU（H27.9）

・高松クリーンデー（H27.10）　・香川県シェイクアウト（H27.11）　等

《省エネルギー化推進によるCO2排出量削減活動について》

H26.7月の事務所移転から1年余りが経過し、電気使用料等のデータが蓄積されたこともあり、実態に沿った目標設定を実施し、その達成に向けて削減活動を行っています。

活動内容自体は、適切且つ推奨される空調温度の設定・こまめな換気の実施等…基本的な活動が中心です。

また、社有車のガソリン使用量に関しては、香川県内事業所の広域化等の影響もあり、対前年度で増加となっています。

上記要因から、今年度は計画未達となっています。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆セントラルビルへの勤務者増加に伴って廃棄物自体の排出量も増加しましたが、リデュース・リサイクル推進によって実績値評価においては目標値達成しています。

☆紙ごみ（シュレッダー・新聞紙・段ボール等）の回収先はあなぶきパートナーであるため再生率は100%

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆地方自治体の取り組み参加の周知・啓発を、事務所全員が集まる朝礼で実施しました。

☆電気スイッチ・プリンター・古紙回収ボックス周辺へ啓発ポスター等を掲示しました。

《グリーン購入の実施について》

☆通常購入の物品については、エコマーク製品の購入に努めました。

【次年度の取組内容について】

☆エコ検定の取得率は、継続して100%を目指します。

☆事務所内の稼動していない部分の消灯などをより徹底して行います。

☆物品購入の際は、エコマーク製品を優先的に購入します。

☆ビル全体の空調管理（温度設定等）について、管理者との協議を行います。□

☆「廃棄物排出量」「コピー用紙」については継続してリデュースに注力します。

☆地方自治体の取り組みには継続して積極参加します。

９. 代表者による全体評価と見直しについて

① 環境経営方針の見直しについて

１．代表取締役社長の交代に伴い環境方針の見直しを実施した。（2014 年 10 月 1 日）
（会社を取巻く社会環境等に大きな変化が無いので、変更なし）

２．環境方針を『環境経営方針』と改め、地球温暖化対策計画を受けて、低酸素社会の実現について環境経営方針の見直しを実施した。（2016 年 6 月 1 日）
※当環境活動レポートには、2016 年 6 月 1 日改訂版の環境経営方針を記載しております。

②マネジメントレビュー

平成 27 年度　エコアクション 21 運用状況報告会（平成 28 年 4 月 27 日）を受けての指示事項

Ⅰ．全社の運用状況に付いて
１．各施設において概ね良好な管理が出来るようになった。
取組みが形骸化しないように定常管理へ向けた組織作りを進める事。
２．ＰＤＣＡを回し、より効果的な運用を図る事。
３．個々の意識向上を図る為の教育・訓練を積極的に実施する事。

Ⅱ．地域社会との連携に配慮し、ＥＡ２１活動を進めて行くこと。

平成 27 年度のエコ活動レポートは以上です。
幣社は、今後とも全社を挙げて環境に配慮した活動に取組み継続的に改善してまいります。
そして、この活動を自社のみにとどめるのではなく、広くお客様、地域社会の皆様のご理解・ご協力を得て『持続可能な社会の実現』に向けて、貢献させて頂けるように努めます。
地球環境の悪化がこれ以上進まないように、次の世代へより良い地球環境を引き継げるよう、日々の活動を継続してまいります。

あなぶきエンタープライズ

エコ活動レポートは当社の公式ホームページでも公開いたします。下記 URL よりご覧ください。
http://www.anabuki-enter.jp/

発行日：2016 年 6 月 1 日